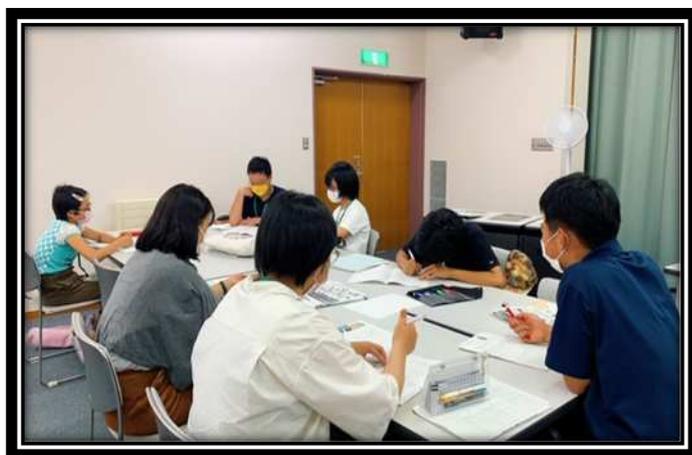


第6期（令和2年5月～令和3年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松本市

目 次

はじめに	1
第6期「まつもと子ども未来委員会」実施要項	2
第6期「まつもと子ども未来委員会」委員	3
委員会開催状況	4
活動内容	
1 今年度の取り組み	5
2 今年度の「スローガン」	5
3 サポーターの参加（第5期～）	5
4 活動1の取り組み	6
5 活動2の取り組み	12
6 提言のリハーサル	13
7 市への提言	15
8 市への提言の振り返り	19
9 「子どもの権利ウィーク」についてのヒアリング調査	20
10 各課照会結果の報告	21
11 次期委員会に向けた反省や意見	22
その他委員会の活動	
1 市立病院へのポスター・手紙の贈呈	23
資料	
1 提言に使用したスライド	24
2 新型コロナウイルスに関するアンケート調査結果	45
3 市立病院へのポスター・手紙	73
4 次期委員募集チラシ	86
5 未来委員会初回アンケート結果	88
6 未来委員会最終回アンケート結果	91
7 未来委員会保護者向けアンケート結果	97

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文（一部抜粋）

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

「松本市子どもの権利に関する条例」が施行されてから8年が経ちました。少子化が社会的な問題となって久しい昨今、多くの自治体が少子化対策として「子育て支援」に取り組む中、本市では、条例に基づき、「子どもの権利」という視点で、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。

その取組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会では、年齢も住んでいる地域も違う子どもたちが、松本のまちづくりについて考え、話し合う活動をしており、交友関係を広げながら子どもの意見表明・社会参加を促進しています。こうした取組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえること、相手の意見に耳を傾け、受け止められるようになることで、自己肯定感を育み、子ども自身の育ちにつながると考えています。

さて、第6期まつもと子ども未来委員会は、新型コロナウイルスの影響で5月まで開催することができず、例年より遅いスタートとなりましたが、委員の発案により医療従事者へ感謝を伝える手紙・ポスターを作成することとなり、松本市民病院へ贈呈していただきました。また、まちづくりへの提言では、委員が関心を持った①PR活動、②環境問題、③校則の見直しの3つのテーマについて、具体的な提言を行うとともに、新型コロナウイルスの影響で学校が休業となった際のことについてアンケート調査を行い、市への要望等の意見をまとめて、報告していただきました。

今期も市内の大学生によるサポーターの参加があったことで、的を射た提言となりました。サポーターの皆さん、ありがとうございました。

「子どもの権利」の取組みは、なかなか他の自治体に広がらない現状があります。松本市の未来委員会のように、子どもたちが本来持っている力を発揮し、成長していく場が広がり、「子どもの権利」に関する取組みが、県内外に拡大していくことを期待しています。

松本市長 臥雲 義尚

Ⅱ 第6期(令和2年5月～令和3年3月)まつもと子ども未来委員会実施要項

1 趣旨

子どもにやさしいまちづくりを一層進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るため、まつもと子ども未来委員会を開催するもの

2 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える。

3 対象

松本市内在住、在学または市内で活動をしている小学5年生から高校3年生相当（就労者、予備校生等含む）まで、おおむね30人程度を予定

4 活動期間

令和2年5月～令和3年3月

5 主な事業

- (1) 子ども未来委員会
- (2) 市内見学
- (3) 市への提言
- (4) 委員の興味・関心のある事業への参加・実施

6 参加者募集方法

- (1) 市内小中高校へ募集チラシとポスターを配布
- (2) 松本市公式ホームページ、公式SNS、広報まつもと3月号に掲載

7 参加者募集期間

3月9日（月）から4月10日（金）まで

※7月17日（金）までホームページにて委員を追加募集

8 その他

委員会活動の支援を行う大学生サポーターを設置

Ⅲ 第6期「まつもと子ども未来委員会」委員

1 総数 16名

2 内訳

学年（人数）		学校（人数）
小学生（4）	5年生（1）	田川小学校（1）
	6年生（3）	清水小学校（1）、島内小学校（1）、信州大学附属松本小学校（1）
中学生（10）	1年生（1）	鎌田中学校（1）
	2年生（8）	旭町中学校（3）、筑摩野中学校（1）、明善中学校（1）、会田中学校（1）、梓川中学校（1）、信州大学附属松本中学校（1）
	3年生（1）	波田中学校（1）
高校生（2）	1年生（1）	東京都市大学塩尻高等学校（1）
	2年生（1）	松本秀峰中等教育学校（1）

3 名簿

（50音順、◎委員長 ○副委員長）

区分	氏名
小学生	○駒橋 希美、○滝川 未央、藤池 春妃、山田 夢佐志
中学生	青山 飛真、○阿部 康介、安澤 優海、池田 千歩、○井籠 莉乃、 滝澤 智貴、根本 怜奈、◎橋本 昂賢、藤崎 悠理、宮島 陸
高校生	小澤 樺音、鈴木 柚葉

IV 委員会開催状況

回	日時	場所	内容
1	6月14日(日) 14:00~16:30	あがたの森文化会館 第一会議室	(1) オリエンテーション (2) 正副委員長決め
2	7月5日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 第一会議室	(1) 委員会のスローガンについて (2) 活動1の実施方法を定める
3	7月19日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 第一会議室	活動1に関する学習・話し合い
市内見学	8月3日(月) 9:30~16:30	旧開智学校、松本市役所大手事務所、 松本クリーンセンター、エコトピア山田	市内見学
4	8月23日(日) 13:30~16:00	中央図書館3階 視聴覚室	(1) 活動1に関する学習・話し合い (2) 活動2に関する話し合い
5	9月13日(日) 13:30~16:00	中央図書館3階 視聴覚室	活動1に関する学習・話し合い・まとめ
6	10月4日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室	(1) 活動1に関するまとめ (2) 活動2の学習・まとめ
7	10月18日(日) 13:30~16:00	松本市役所3階 大会議室	(1) 活動1に関するまとめ (2) 活動2のまとめ
8	10月25日(日) 13:30~16:00	松本市役所3階 大会議室	(1) 活動1に関するまとめ (2) 活動2のまとめ
9	11月1日(日) 13:30~16:00	松本市役所3階 大会議室	発表準備・練習
10	11月15日(日) 13:30~16:00	勤労者福祉センター	リハーサル
市への提言	11月21日(日)	勤労者福祉センター	発表
11	12月6日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室	(1) 発表の振り返り (2) 子どもの権利ウィークについてのヒアリング
12	1月17日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室 ※中止	(1) 次期委員会について (2) 総合計画・スーパーシティ構想について (3) 各課照会結果の報告
13	2月14日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室	(1) 次期委員会について(チラシ作り) (2) 活動のまとめ
14	3月7日(日) 13:30~16:00	あがたの森文化会館 2-8会議室	まとめ

※新型コロナウイルス感染症の影響で、4~5月、第12回委員会(1/17)は中止

V 活動内容

1 今年度の取組み

活動1：未来委員会の活動としてやりたいことを皆で話し合い、実際に行った活動の成果や活動をとおして考えたことを市に提言する。

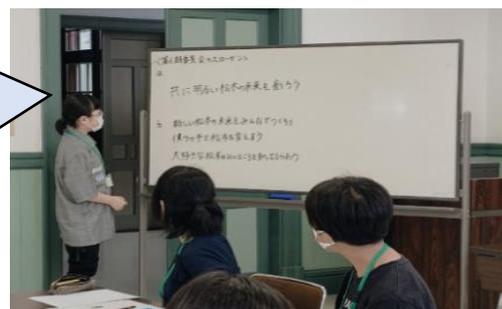
活動2：新型コロナウイルスの影響で、学校が休業になったときに委員が考えたことや、もっと市にこうしてほしいかという要望等の意見をまとめて、市へ発表する。

2 今年度の「スローガン」

全員で出し合った候補案の中から、多数決を行い、今年度のスローガンにふさわしいものを選びました。

【各グループのスローガン案】

- ① 共に明るい松本の未来を創ろう
- ② 新しい松本の未来をみんなでつくろう
- ③ 僕らの手で松本を変えよう
- ④ 大好きな松本のいいところを知ってもらおう



その結果、得票数が一番多かった①「共に明るい松本の未来を創ろう」に決定しました。

3 サポーターの参加

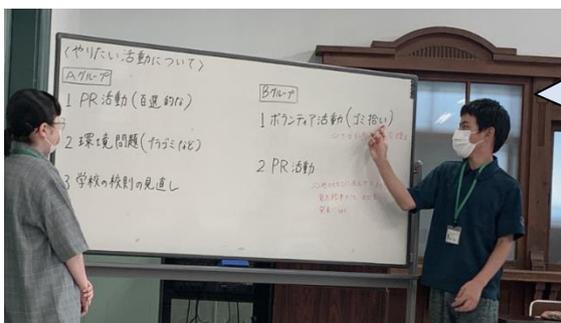
委員会の活動を支援し、委員の成長を図るとともに、子どもの意見表明や参加の促進を図ることを目的として、まつもと子ども未来委員会サポーターを設置しています。

今年度は市内の大学生5名が、まつもと子ども未来委員会のサポーターとして参加しました。

4 活動1の取り組み

(未来委員会の活動としてやりたいことを皆で話し合い、実際に行った活動の成果や活動をとおして考えたことを市に提言)

(1) 活動内容の検討



【今年度取り組みたい活動の案】

- ① PR 活動
- ② 環境問題 (プラゴミなど)
- ③ 校則の見直し
- ④ ボランティア活動 (ゴミ拾い)

【委員の意見(抜粋)】

- ・ 5期はPRが最後まできちんとできなかったからもう一度やりたい
- ・ レジ袋が有料になり、プラスチックの問題点が見直されている中で、プラスチックの何が悪いのかなど、調べたい
- ・ 子ども目線からの校則について考えてみたい

話し合いの中で、委員が特に興味を持った①PR 活動、②環境問題、③校則の見直しの3つのテーマについて、グループごとに分かれて学習し、活動を行うことに決定しました。

(2) 具体的な学習・活動についての話し合い

市への提言に向けて、具体的にどのような学習・活動をしていきたいかということについて、各グループで意見を出し合いました。

【具体的にやってみたい学習・活動】

PRグループ	環境グループ	校則見直しグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター作り ・ 「おすすめ観光地」のPR ・ PR動画作り ・ 新しいゆるキャラを作る ・ MAPを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ拾い ・ リサイクルについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不必要だと思う校則や改善した方が良く思う校則をまとめ、解決策を考える ・ 自分の学校の校則について、不要なもの、足した方がいいものなどを話し合う ・ 今ある校則と昔からある校則を比べる

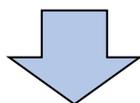
(3) 市内見学

委員会の活動内容に関連した場所を訪問し、活動についての新しい知識を得たり、理解を深めたりするために、市内見学を実施しました。

委員にアンケートをとり、事務局がその中から見学場所を選定しました。

【 市内見学希望場所アンケート結果 】

行きたい場所	理由
松本の観光名所（何個か）	PR活動のため
歴史を感じられる場所。3ガク都関係。	歴史について興味があるし、まつもと子ども未来委員として松本をもっと知りたいと思ったから。
旧開智学校	国宝になったから、学都についてもう一度考えてみる。
松本城	松本城に久しぶりに行きたいし、ゴミがどれくらいあるか知りたいから。
市役所など、校則や、教育に関して、くわしく知れるところ。	校則を見直すには、今ある現状を知らなければ考えられないから。
松本城（教育委員会） 環境について…クリーンセンター・埋立所など	松本城：松本市最大の観光スポットだから、詳しいことも知りたい。 教育委員会：難しいと思うが、教育関係は「校則」にも関わってくるので、見てみたい。（どんなことをしているのか？） 環境：ゴミが処理される場所で、ゴミがあふれる現状を目で見たいから。
松本クリーンセンター PRできそうな場所	ゴミの処理について知りたいから。実際に見てみるべきかなと思った。
松本クリーンセンター	プラゴミなどについて深く知れる。
上高地、城、博物館など	歴史を感じられるから
松本クリーンセンター エコトピア山田 〇〇百選	松本クリーンセンター：プラスチックゴミなどを知れる機会になる エコトピア山田：ゴミや環境を知れる 〇〇百選：PRの一貫になる
校則や学校に関係のあるところ PRに使えるような観光	校則見直しとPR活動があったから
上高地	豊かな自然を味わい、また、行ったことのない人に紹介したい。



【見学場所】

- ① 旧開智学校（国宝）
- ② 松本市役所大手事務所（教育長講話）
- ③ 松本クリーンセンター（ゴミ処理場）
- ④ エコトピア山田（埋立所）

【見学の様子】

① 旧開智学校

国宝の旧開智学校の施設を見学し、学芸員の方に学校の歴史や創立時のことについて、お話を伺いました。



【 旧開智学校で学んだこと 】

- ・旧開智学校は、約 140 年前に、地域の人々によって「智を開いて立派な人になってほしい」、「より良い未来を創ってほしい」との願いを込めて造られた。
- ・現代の校則にあたる開智学校規則「生徒心得」には、朝起床してから登校するまでの振る舞いについての記載があり、昔の時代の特徴が表れている。
- ・昔は子ども全員が就学できることが当たり前ではなかった。

② 松本市役所大手事務所

松本市役所大手事務所で、教育長・学校指導課から、なぜ校則が存在するのかということや校則を変更するためにはどのような手順を踏めばよいのかということについて、お話を伺いました。



【 松本市役所大手事務所(教育長・学校指導課の講話)で学んだこと 】

- ・一人の声は弱い、多数の声は大きく強くなる。何か声をあげる時は、仲間を作ることが大きな一歩へ繋がる。
- ・校則変更の手順は、①賛同を得る、②理解者を集める、③原案を作るという過程が必要。
- ・校則は、各学校の判断と責任の下に定められるものである。
- ・校則の内容・運用は、児童生徒の実態や保護者の考え方・地域の実情・時代の進展を踏まえ、積極的に見直しを行うことが必要。

③ 松本クリーンセンター

松本クリーンセンターでは、可燃ごみ・プラスチックごみ・破砕ごみの処分方法について、ビデオや実際の処理場を見ながら説明をしていただきました。



【 松本クリーンセンターで学んだこと 】

- ・破砕ごみは小さく砕かれ、可燃ごみと共に焼却された後、灰となってエコトピア山田に埋め立てられる。
- ・焼却の際に発生する廃ガスは、ダイオキシンなどの有害物を排除して、きれいな排ガスに処理し、煙突から排出する。
- ・プラスチックごみは、リサイクル施設の中で、選別されて、最終的にさいころ状にしてフィルムに巻かれ、リサイクル商品として、ベンチなどに生まれ変わる。
- ・焼却の際に発生する熱を利用して発電を行い、隣接するラーラ松本や松本クリーンセンター内の電力を賄い、残りは電力会社に売電している。

④ エコトピア山田

エコトピア山田では、ガラスや陶器などの埋め立てごみ、電池や蛍光灯、クリーンセンターで排出された灰の処理についての説明をしていただきました。



【 エコトピア山田で学んだこと 】

- 電池と水銀を除去する処理をした蛍光灯は、リサイクル業者へ引き渡される。電池の金属は、コンクリートの中に入れる鉄心、蛍光灯のガラスはセメントに混ぜ、断熱材などにリサイクルされる。
- 埋立てゴミは3メートル、灰は2.5メートルの上に50センチの土を重ねていく「サンドイッチセル方式」で埋め立てていく。
- 来年度からは受け入れを停止して、数年かけて土地を整地し、受け入れ可能年数を増やすために新しい施設が造られる。

(4) 提言に向けたグループ活動

ア PRグループ

(7) 学習・活動内容

- 松本市の観光地を図書館の資料等で調べる
- 「子ども目線からのおすすめ観光地」パンフレットの作成
- パンフレットに掲載する写真の撮影
- PRする観光地の紹介文考案

(イ) 学習・活動の様子

どんなパンフレットにしていこうか？
構想を練ります



イ 環境グループ

(ア) 学習・活動内容

- ・環境問題について図書館の資料、インターネット等で調べる
- ・松本クリーンセンター、エコトピア山田の見学の振り返り
- ・市の事業「フードドライブ」についての検討

(イ) 学習・活動の様子

自分たちの身近で行われている
取り組みについても議論します



ウ 校則見直しグループ

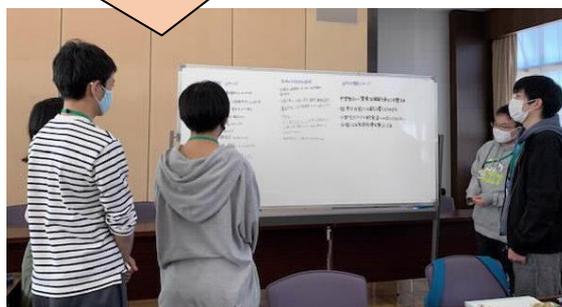
(ア) 学習・活動内容

- ・旧開智学校の見学の振り返り
- ・教育長、学校指導課講話の振り返り
- ・委員の生徒手帳を参考に、現在の校則について検討する（不要な校則など）

(イ) 学習・活動の様子



意見をホワイトボードにまとめて、
議論を深めていきます



5 活動2の取り組み

(新型コロナウイルスの影響で、学校が休業になったときに委員が考えたことや、
もっと市にこうしてほしいという要望等の意見をまとめて、市へ発表)

(1) 意見交換

2つのグループに分かれて、付せんに自分の意見を書き、模造紙に貼り付け、全体に向けて発表しました。最終的に似た意見を項目別に分類し、まとめました。

【委員の意見（抜粋）】

- ・勉強の進度が心配
- ・休業になった時、自分は、LINE等のネットワーク環境が整っていなかったから「嫌だなあ」と感じた
- ・コロナについての対応があいまいだったところがあって、急なことだったから仕方がないと思うけれど、万が一を考えて、スムーズな対応ができるようにしてほしい



委員が出した意見の中で、
似ているものはないか？
項目別に分類できないか？
提言に向けてまとめていきます

(2) アンケート調査の実施

委員が自分のクラスの生徒を対象に、新型コロナウイルスに関するアンケート調査を実施しました。

アンケート用紙は回収後、事務局がとりまとめました。

アンケート調査結果は、
市への提言に活用

新型コロナウイルス感染症による影響アンケート調査 第6期まつもと子ども未来委員会	
あなたの学年は _____ 年生	
1 3月の急な臨時休業について伺います。	
① 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか。	
ア 悲しかった イ 嫌だった ウ おどろいた エ 学校が休みになって嬉しかった	()
オ その他 ()	
② 休業中の生活で、いつもと変わったことはありましたか。	
ア たくさんあった イ 少しあった ウ なかった	()
エ その他 ()	
③ ②でアまたはイ、と答えた方は、それは何ですか。	
ア 生活リズムが乱れた イ 食事 ウ 睡眠時間 エ 勉強	()
オ その他 ()	
④ 休業中に家族・家庭の中で困ったことはありましたか。	
ア 親が失業または収入が減った イ 食事が用意されていなかった	()
ウ 親が怒ることが多かった エ 親から暴力をふるわれた オ なかった	()
カ その他 ()	
⑤ 悩んでいること・困ったことを誰かに相談しましたか。	
ア した イ しなかった	()
⑥ ⑤でア、と答えた方は誰にしましたか。	
ア 親 イ 先生 ウ 友人 エ 親戚の人 オ その他 ()	()
⑦ 休業中に勉強方法や家での過ごし方など自分なりに工夫したことはありますか。	
ア 勉強方法を工夫した イ 家での過ごし方を工夫した	()
ウ 勉強方法・家での過ごし方どちらも工夫した エ 工夫したことはなかった	()
⑧ ⑦でア、イ、ウ、と答えた方は、どんな工夫をしましたか。	
ア 勉強方法 ()	
イ 家での過ごし方 ()	
2 維持休業が終わったとき(学校が再開した時)についてお聞きします。	
① 学校が再開すると聞いてどんなことを感じましたか	
ア 悲しかった イ 嫌だった ウ 嬉しかった	()
エ その他 ()	
3 現在の事について伺います。	
① 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩んでいること・困っていることはありますか。	
ア ある イ 少しある ウ ない	()
② ③でアまたはイ、と答えた方はどんなことですか。	<input type="text"/>
③ 今必要なものは何ですか。	
ア 情報 イ 問題のサポート ウ 相談相手 エ 勉強	()
オ 安心して生活出来ること カ 友達と遊ぶこと	()
キ その他 ()	
④ 子どもから大人(親・先生・大人全員など)に伝えたいこと・言いたいことはありますか。	
ア ある イ ない	()
⑤ ④でア、と答えた方は、どんなことですか。	<input type="text"/>
⑥ もし自分が市長だったらどんな政策を考えますか。	<input type="text"/>
ご協力ありがとうございました！	
このアンケート調査の結果は、11月21日(土)に行う、第6期まつもと未来委員会の市長提言の まとめに活用させていただきます。	

6 提言のリハーサル

提言の約1週間前に、本番と同じ会場の勤労者福祉センターでリハーサルを行いました。

ア 発表の準備

グループごと、作成した発表の原稿を確認し、読み合わせを行いました。

あわせて、壇上に上がる前の立ち位置の確認も行いました。

イ リハーサル

パワーポイントのスライドをプロジェクターに映し、当日と同じ状況でリハーサルを行いました。

ウ 発表の反省

リハーサル後、グループごと反省点を共有し、本番に向けて調整を行いました。

【リハーサルの反省点（委員）】

- もっとゆっくり言う
- 出るタイミングを覚える
- 早口になってしまい、よく噛んでしまった
- ページをめくる時に、あたふたしてしまった
- 息継ぎの場所が分からず、一息でつなげてしまっていた



【サポーターの感想】

- パワーポイントの切れ目があった方が、スライドと発表を聞きやすい
- もう少しゆっくり、抑揚をつけた方が聞きやすい
- 待ちの姿勢が良かった
- 早口の人が多いと感じたので、できる限り、ゆっくり話すことを心がけると良い

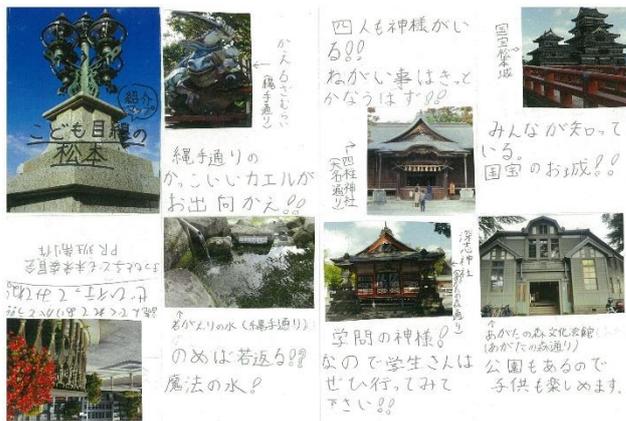


7 市への提言

(1) 松本市の観光 PR について

「松本は面白い」ということを多くの人に知ってもらうために、実際に自分たちで松本の観光地に足を運んで写真を撮影したり、PR文を考えたりして、「子ども目線の松本」というパンフレットを作成しました。(※提言時には、下書きのパンフレットを紹介)

テーマを選んだ理由	課題	提言
・松本の面白いところを色々な人に知ってもらいたい	・新型コロナウイルスが流行する中で、「誰に」・「いつ行ってもらうのか」	・パンフレット紹介
・松本に詳しくない人もいるため、PRしたい	・新型コロナウイルスが流行する中で、本当にPRをしてもいいのか	



※A4 紙に印刷し、8 等分に折りたたむ
→ポケットサイズにして持ち運びしやすい形に

(2) 環境(フードドライブ)について

自分たちの身近で行われているフードドライブの取組みに関心を持ち、学習を進め、現在のフードドライブをさらに発展させる形で提言を行いました。

テーマを選んだ理由	課題	提言
・環境問題の深刻化（日本でのレジ袋有料化） →環境問題に関心を持った	・フードドライブの認知度が低い	・認知度向上 チラシ配布・回覧（学校・回覧板） ポスター掲示
・自分たちの身近な取組み（フードドライブ）を知った		・回収量増加 「常設」の回収ボックスの設置 （出張所・公民館・学校など）

(3) 校則見直しについて

普段、自分たちが校則に触れて生活している中で、不便に感じていることや時代に合っていないと感じることがあるということから、教育長・学校指導課からお話を伺ったりしながら、学習を進め、校則の更なる理解・発展を進めるための提言を行いました。

テーマを選んだ理由	課題	提言
・時代錯誤、不便を伝える	・表現が分かりにくい・曖昧 ・不要な校則の残存 ・先生・生徒一人一人が細部まで校則を把握できていない	・先生・生徒の校則の読み合わせ
・他の学校の校則を知る機会になる		・時代に合わせて校則を変化させる

(4) 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見

新型コロナウイルスの影響で、学校が休業となっていた時、子どもたちが感じたこと・考えたことを話し合い、意見をまとめました。

	委員の意見（抜粋）	市（大人）への要望（抜粋）
学校・学習面	・学習方法や進みの遅れ、友人との差について、情報が得られないことが不安な気持ちにつながった	・ガイドラインや学習プリントのようなものを作成してほしい ・オンライン環境の整備を進める →個々の状況に配慮して環境が整っていない人に対しては、個別に柔軟に対応することが必要
日常生活・大人の行動	・「買いだめ」など、一部の情報に惑わされて冷静な判断・行動が出来ていなかった	・大人の行動は、子どもにも大きな影響を与えることから、慎重な行動を心がけてもらえるような効果的な施策や周知が必要

(5) サポーター（大学生）からの一言

子どもならではの意見、積極性、発想に驚くことが多く、自分自身楽しみながら子どもたちと一緒に松本について考えることができ、貴重な経験ができた。

(6) 市関係者からのコメント

ア 臥雲市長

(ア) 松本市の観光 PR について

- ・PRなどの情報発信や広報は、今までとは違うやり方でやっていくことが必要。
- ・(子どもたちが作成したものは) 大人が書けないようなことをストレートに表現してくれている。
- ・他の大人や市が作成したものをたくさん見て、比較してもらい、作ってPRするまでに、自分たちで工夫できること、こうしたいと思うことを考えて作業し、未来委員会

の特色を持ったものを作ってもらいたい。

(イ) 環境（フードドライブについて）

- ・フードドライブの具体的な話から、より勉強の幅を広げ、気候危機、再生可能エネルギー、脱炭素社会の問題など、身の周りの問題から大きな問題を考えてほしい。

(ウ) 校則見直しについて

- ・今までのルールでいいところもある。変えた方がいいと思っている人が多くない場合がある。
- ・疑問を持って、先生方に質問して、それからどうするかということ、発表だけで終わりにせず考え続けてほしい。
- ・ルールは変えられないものではない。どうしたら変えられるか、変える必要があるか、提言のことについても、改めて考え、みんなが本当に思っているなら実行に移してほしい。
- ・仲間を増やし、周りの人を説得し、みんなにそうだなと思ってもらえることが必要。

(エ) 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見について

- ・大人は、子どもより物をよく知り、経験もしてきているが、コロナウイルスについてはわからない。大人も子どもも差がないと思っている。
- ・日本も世界も、不安になっていて、何をやるかはっきりしない。わからない中でどう判断していくか、社会の力がつく問題であると思う。
- ・子どもも大人も一緒になって、少しでも安心して毎日を過ごせるように、小さなこと、身の周りのことを子どもたちから大人にどんどん言ってほしい。

イ 赤羽教育長

(ア) 松本市の観光 PR について

- ・今年感心したことは、「松本は面白い」ということに目を付けたこと。学習をとおして学ぶ→面白い→みんなに知ってもらいたいというプロセスを経ているから人の心に伝わると思う。
- ・松本城など、一点に絞って詳しく、面白さを探っていくと良い。子ども目線から見た面白さが広がるのではないかな。

(イ) 環境（フードドライブ）について

- ・フードドライブについては、提言のとおりだと思った。
- ・自分は、市役所に勤めていたから参加する機会があったが、色々な場で機会があれば、活動が広がるのではないかな。
- ・生きていく上でとても大切な、ものの命を大切にしようということを広めることになる。

(ウ) 校則見直しについて

- ・校則は、時間を守りましょう・ゴミを捨てないようにしましょうというマナーとは少し違う。
- ・クラスの仲間たちとルールを作る自治の精神につながる。
- ・(発表の中で委員が発言した)「意見が違う人もいるので、堂々巡りになりそうなくらい、難しい」ということについて、全て白と黒で決められないこともあると感じたことが大事。すぐに結論を出せないこともたくさんある。
- ・「先生・生徒との校則の読み合わせ」という提言は、皆で考える問題であるから、先生と生徒と一緒に見直して、呼びかけてほしい。

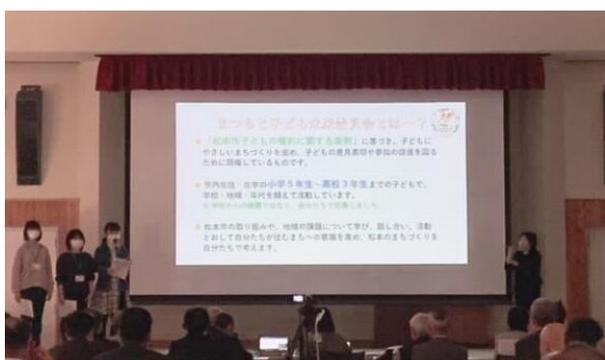
(エ) 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見について

- ・アンケートの結果を見て、改めてこういうことを感じていたのかと思った。提言を含め、これから活かしていきたい。
- ・大人たちの行動はどうだったのかということについて、手厳しい意見もあった。未知なものへの不安は子どもも大人も同じ。大人は極端な行動に出ることもある。冷静に考えたとき、大人はどうだったのか、子どもに見られているということを大人に伝えていかなければならないと思った。

(オ) サポーターについて

- ・サポーターの存在は、心強く、助かった。未来委員からも育ってくれることを祈っている。

【提言の様子】



8 市への提言の振り返り

市への提言後の委員会では、グループごとに分かれて、提言の振り返りを行いました。

【各グループの振り返りの内容】

	PRグループ	環境グループ	校則見直しグループ
良かったところ	<ul style="list-style-type: none"> 説明の文章がうまくできた ゆっくり分かりやすく話せた 例題が出せた 話のまとめなどがうまくいった 	<ul style="list-style-type: none"> なるべく台本を見ずにできた 練習での悪かったところを改善できた グループでの発表順をもとに円滑に進めることができ、良かった 	<ul style="list-style-type: none"> 聴く人の方を向いて伝えられた 提言としてまとめられた わかりやすく（伝えられた） 練習よりも大きな声で話せた スムーズな動きができた 今までしてきた活動を、市民にしっかりと訴えられた 発表する場面で、聴く人に良いイメージで分かりやすく聴いてもらった はっきり伝えられた 練習より良かった
悪かったところ	<ul style="list-style-type: none"> 例年ほど具体的なものではなかった 地図ができなかった パンフレット紹介の時間が短かった パンフレットを見せる時間が少なかった しゃべり方が少し悪かった MAPなどを間に合わせたかった 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を読む頻度が高い つかかかってしまったところがあったりして、全体で焦った 	<ul style="list-style-type: none"> はきはき喋れなかった 噛んでしまった 紙を落とした 声が途切れた 自分じゃないところの態度が良くなかった 待ち時間でフラフラしてしまった 練習の時より声が小さくなってしまった

【 提言全体をととしての委員の意見（抜粋）】

- 自分たちの提言についての問題点、新たな課題を知ることができた。改善策を考えたい。
- 今回やった活動をこれで終わらせるのではなく、次につなげてやっていきたい。

【提言に対するサポーターの感想（抜粋）】

- リハーサルの時以上に堂々と発言していた。
- これまでの活動がしっかりと発表できていた。
- 途中順番が前後してしまう場所があったが、上手くフォローし合っていたのが印象的だった。



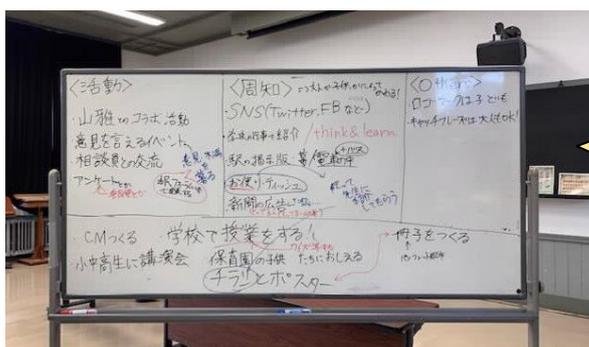
9 「子どもの権利ウィーク」についてのヒアリング調査

※こども育成課では、11月20日の「松本子どもの権利の日」に合わせて、「子どもの権利」の普及・啓発活動を集中的に行うことを目的として、「子どもの権利ウィーク」の創設を目指しています。

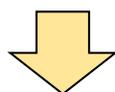
子ども目線からの意見を聞くために、まつもと子ども未来委員会の委員にヒアリング調査を実施しました。

【 ヒアリング内容 】

- ・「子どもの権利ウィーク」メイン事業の考案について
- ・現在、松本市が行っている事業の中で委員が知っているものはあるか
- ・「子どもの権利ウィーク」のロゴマーク、キャッチフレーズの募集範囲について
- ・その他、委員が考えたこと自由に話し合う



委員が話し合った結果、
子ども目線からの
たくさんの案が出ました！



活動	周知(大人か子どもかによって変わる)	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・山雅とのコラボ活動 ・意見を言えるイベント 意見、不満を募る →市民フォーラムで発表する ・相談員との交流 ・アンケートとか(郵便とか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS (Twitter, Facebookなど) ・学校の行事で紹介/think & learn ・駅の掲示板、幕 (バス・電車の中) ・お便り、ティッシュ →配って先生に紹介してもらう ・新聞の広告 (※とっている人ととっていない人の差…そこまで見ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマーク募集は子ども ・キャッチフレーズは大人も募集OK
	<ul style="list-style-type: none"> ・CMをつくる ・学校で授業 (クイズ等) をする ・小中高生に講演会 ・保育園の子どもたちに教える ・チラシとポスター ・冊子を作る (パンフレット配布) 	

10 各課照会結果の報告

市への提言の際に提示した案や意見などに対し、各課の実際の事業に反映できるのか、できない場合はどういった理由なのかどうか照会をかけました。

PRについての提言【担当課：観光温泉課】

作成したPRパンフレットを設置、配布したい

回答：今後検討したい

松本市観光案内所、松本観光情報センターへのパンフレット配置や、松本市の公式観光情報サイト新まつもと物語への掲出も検討したい。

環境（フードドライブ）についての提言

【担当課：環境政策課】

フードドライブを多くの人に認知してもらうために、チラシを学校や回覧板で周知、ポスターの掲示を行う

回答：すでに取り組んでいる、今後検討したい
一部の市内小中学校では、フードドライブを学校主催で実施し、チラシを配布し周知することですすでに取り組んでいます。

取り組んでいない学校もたくさんあると考えられます。フードドライブのポスターを制作し、ポスター掲示について今後検討します。フードドライブはゴミ減量、食育の推進、生活困窮者審のために実施しています。チラシの配布や回覧は大量のゴミになる場合も考えられるため、ポスター掲示とします。

環境（フードドライブ）についての提言

【担当課：環境政策課】

フードドライブの回収を増やすために、出張所、公民館、学校などに常設回収ボックスを設置する

回答：その他

不特定多数の人が来る場所での常設の回収ボックスの設置は、食品寄贈者の把握が難しく、食品事故につながる可能性もあり難しいと考えます。

フードドライブの回収を増やすためには、認知度や開催数の増加が必要ですが、市とフードバンク団体だけでは限界があります。

フードドライブの認知度や開催数だけでなく、フードドライブの主催者も増えるように事業を進めていきたいと思えます。

校則見直しについての提言

【担当課：学校指導課】

先生、生徒との校則読み合わせを行ってほしい

回答：その他

児童生徒の自治活動に関わる内容であり、市としては実施できないと考えます。このような提言があったことは各校へ伝えていきます。

校則見直しについての提言

【担当課：学校指導課】

時代に合わせて校則を変化させてほしい

回答：その他

学校運営に関わることなので、市としては実施できないと考えます。このような提言があったことは各校へ伝えていきます。

11 次期委員会に向けた反省や意見

- ・明るくて、楽しく学ぶ委員会 ・知名度をあげたい！ ・書記の役職を作ってほしい
- ・コロナ禍なので、オンラインミーティングなどができたらいい
- ・活動内容として、世界的な課題を取り入れたらいい
- ・今回のテーマや活動で、引き継げるところ、参考にできるところはどんどん取り込んで、より良い活動をしていきたい。
- ・今回の活動は、どれもまだ追及していけるものばかりだと思うので、来年度も引き続きやるのもいいと思います
- ・自分の活動について調べて、余裕があったらほかのグループについて調べてみたい。足りない知識や意見を補えあえたら、回数は少なくとも実効性があるものが伝わりやすくなると思います。
- ・松本市での活動で、フードドライブなどの活動を他の人に知ってもらい、新たな活動をそこから作っていききたい。

【年間を通じての活動の様子】



VI その他委員会の活動

1 医療従事者へのポスター、手紙の作成・贈呈

新型コロナウイルスの影響で委員会を開催して活動できなかった4～5月に、委員の一人から事務局宛てに「今こそ私たちが活動するべきだと思います。集まるのは難しいので家で一人でも出来ることをやった方がいいと思います。例えば医療従事者などの方々に手紙や感謝のポスターを書くことや、インターネットで今できる事やコロナウイルスについての記事を書くなどできる事は沢山あります。」というメールが届きました。

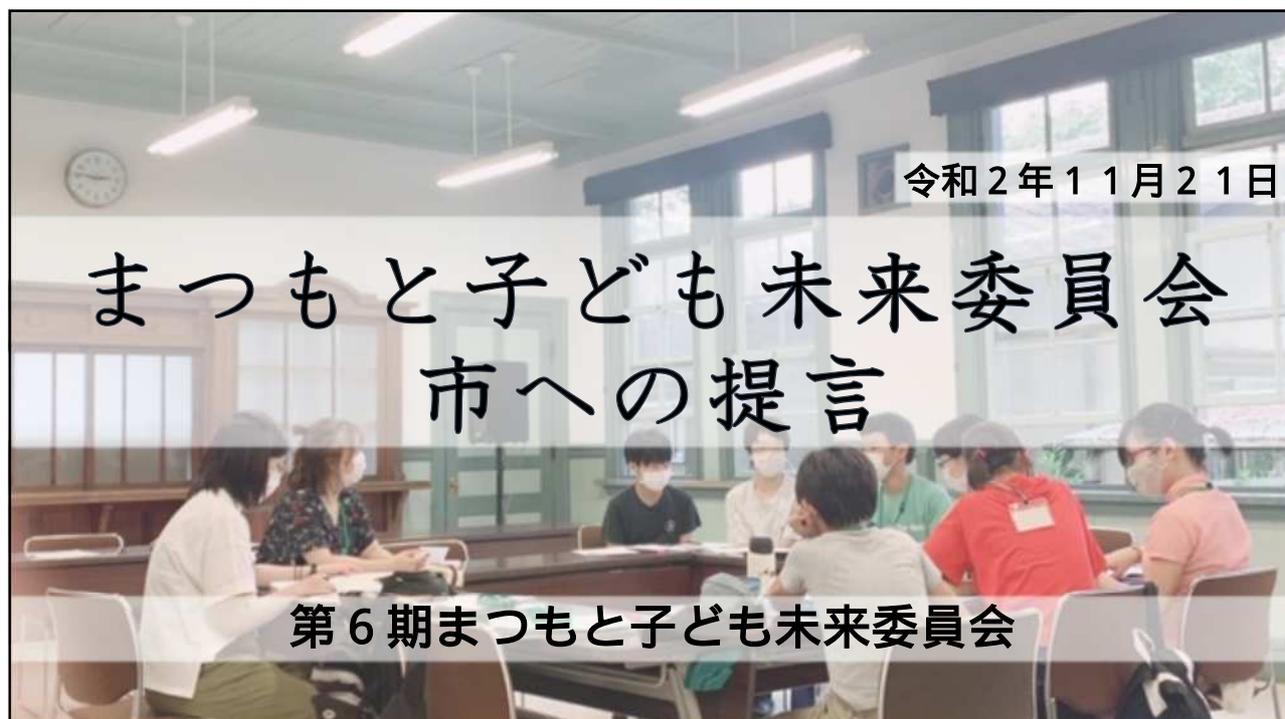
この1件のメールをきっかけに、各家庭で医療従事者に向けたポスターのイラストと手紙を作成することになりました。

回収したイラストは事務局がまとめ、1つのポスターにしました。

完成したポスターと手紙は、当時新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行っていた松本市立病院に贈呈しました。

【贈呈・掲示の様子など】





まつもと子ども未来委員会とは…？



- ◆ 「**松本市子どもの権利に関する条例**」に基づき、子どもにやさしいまちづくりを進め、子どもの意見表明や参加の促進を図るために開催しているものです。
- ◆ 市内在住・在学の**小学5年生～高校3年生**までの子どもで、学校・地域・年代を越えて活動しています。
学校からの推薦ではなく、自分たちで応募しました。
- ◆ 松本市の取り組みや、地域の課題について学び、話し合い、活動とおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを自分たちで考えます。

未来委員会のマークについて



マークに込めた思い

- ＼笑顔でいっぱいになりたい／
KODOMOの“O”が笑顔になっている
- ＼松本と松本の自然を大切にしたい／
手の中に松本、山と太陽 ▲



未来委員会7か条



- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

第4期の未来委員が
自分たちで考えました！



第6期の未来委員会



◆ 活動期間

令和2年5月～令和3年3月

◆ 委員

16人（小学生4人、中学生10人、高校生2人）

→継続13人、新規3人

◆ 大学生サポーター

5人



大学生サポーターについて



昨年度（第5期）から、大学生のサポーターを設置しています。

今年度は、**信州大学生 3人**
松本大学生 2人

のサポーターが委員会に参加してくれています。

第6期のスローガン

共に明るい松本の未来を創ろう



第6期の活動について



1 市への提言

自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えを市へ提言します。

2 新型コロナウイルスに関する子ども目線からの意見

新型コロナウイルスの影響により、学校が休業になった時、子ども達が何を考えたかということ話し合い、意見をまとめて、市に発表します。



1 市への提言

提言に向けた活動

- ◆ 自分たちが興味を持った事柄について、学習し、自分たちの考えをまとめる

松本市の
PR

環境

校則見直し

市への提言！ \ 松本市の /



テーマを選んだ理由



- ◆ 松本は面白いところがたくさんあるので、色々な人に知ってもらいたいと思ったから
- ◆ 松本のことを知っている人はいるけど、詳しくない人もいたのでPRしたいと思ったから

PR活動にあたって、
コロナウイルスについては
悩まされました...





課題・考えたこと

~ 課題 ~

- ◆ 新型コロナウイルスが流行している状況の中で、「誰にPRするのか・いつそこに行ってもらえるのか」
- ◆ 感染症が流行している中で、本当にやっていいものなのか

~ 考えたこと ~

- ◆ 松本は面白い
だからこそ、PRしたい！



学習の内容

パンフレットの作成

- 松本の観光地を調べる
- 写真を撮りに行く



提言 (パンフレット紹介)



ポケットサイズ

表: 観光地

裏: MAP



市への提言 2

環境

青山 飛眞 安澤 優海
橋本 昂賢 宮島 陸

学習の内容

図書館の本

市内見学

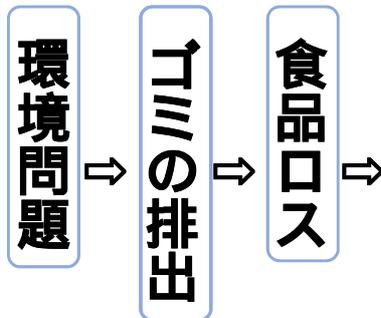
⇒松本クリーンセンター、エコトピア
山田

インターネットを利用した調べ学習

⇒市のホームページ等



テーマを選んだ理由



食べ残し
食糧不足
化石燃料



30・10運動
フードドライブ

考えたこと



フードドライブを増やすには...

個人や家庭などにもっと認知させる!

回数と場所を増やす!

提言①



< フードドライブを認知させるためには >

個人、家庭に知ってもらうために...



チラシを学校で配る
回覧板でチラシを回す
ポスターの掲示



認知度UP!!



提言②



< フードドライブの回収を増やすには >

現状：第3木曜日10～13時 市役所



出張所、公民館、学校などに
『常設』の回収BOXを設置する



協力しやすく、回収量UP!!

自分たちができること

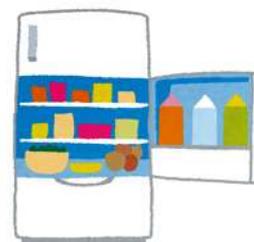


月1回、冷蔵庫や食糧庫等のチェック



自分たちだけでなく、家族や祖父母、
周囲の人たちにも

PRポスター、チラシの作成



市への提言 3

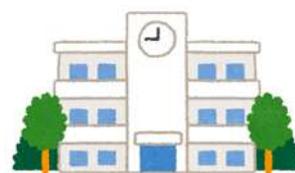
校則見直し

阿部 康介 池田 千歩
井籠 莉乃 鈴木 柚葉
滝澤 智貴 根本 怜奈
山田 夢佐志



テーマを選んだ理由

- ◆ 時代が違うから、不便だから、を伝える
- ◆ 他の学校の校則を知る機会になる



学習の内容

- ◆ 校則は、なぜ・何のためにあるのか
→学校における一定の秩序・規律性を保つため

校則を正式に決めるための手順

賛同	理解者	原案
児童・生徒→総会	⇒ 友人	校則の背景
保護者→PTA総会	⇒ 保護者	必要性→表・グラフ
地域→学校評議員会	⇒ 地域	新たな提案
教師→職員会・校長	⇒ 先生	新たな提案

実際の生徒手帳から抜粋



1 改善すべき校則

中学生らしい質素な服装や身なりに心がける
発車5分前には駅に着くようにする（電車通学）
中学生だけの飲食店への出入りはしない
部活動終了後は教室に入ってはならない

2 生活の上で大切な校則

授業中に病院等へ行く者は必ず担任に届けてから出る
自転車の2人乗り・並列走行・無灯火走行・暴走行為・信号無視等をせず、交通規則を守ること
学校生活に必要なもの以外は持ってこない

課題



- ◆ 表現が分かりにくい、曖昧なものがある
- ◆ 不要な校則がいまだに残っている
- ◆ 生徒や先生1人1人が細部まで校則を把握できていない
 - ⇒ 校則に対していいイメージがない

提言



- ◆ 先生、生徒との校則の読み合わせ
- ◆ 時代に合わせて校則を変化させていく

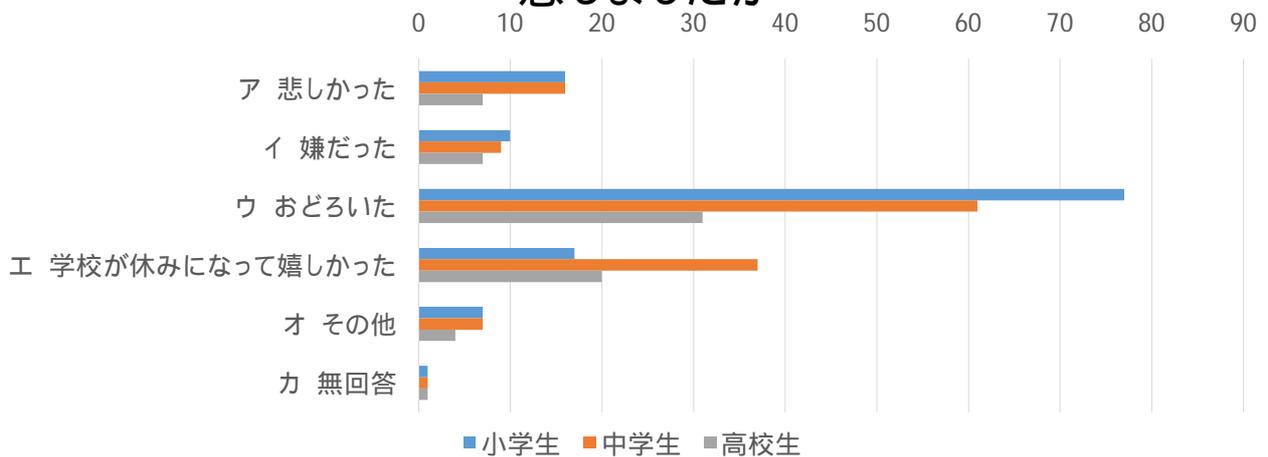


2 新型コロナウイルスに関する 子ども目線からの意見



アンケート結果

Q. 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか



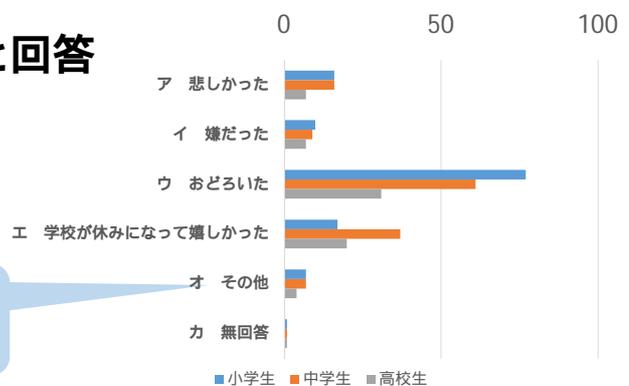
アンケート結果

Q. 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか

◆ 約6割の人が、**おどろいた**と回答

◆ 「**その他**」具体記述（抜粋）

学習格差の拡大や心情の変化が心配になった



委員の意見 ～学校・学習面～



- ◆ 学習の進め方が分からなかった
- ◆ 周りの皆の勉強の進度が分からず、不安になった

学習方法や進みの遅れ、友人との差について、
情報が得られないことが不安な気持ちにつながった

意見のまとめ ～日常生活・大人の行動について～



- ◆ 寂しい・つまらないと子どもが感じている状況
の中での大人たちの行動が不信感につながって
しまったことがあった
- ◆ トイレットペーパーの買いためなどについて、
もう少し一部の人に冷静になってほしかった



考察・市(大人)への要望
～学校・学習面～



＼情報提供の手段として／

- ◆ ガイドラインや学習プリントのようなものを作成してほしい
- ◆ オンライン環境の整備を進める

個々の状況に配慮して、環境が整っていない人に対しては、個別に柔軟に対応することが必要

委員の意見
～日常生活・大人の行動について～



- ◆ あと少ししかない友達との時間を奪われたことが悲しくて、悔しかった
- ◆ 友達に会えなくて寂しい・・・
- ◆ 毎日がつまらない・・・

考察・市(大人)への要望 ～日常生活・大人の行動について～



- ◆ 「買いだめ」など、一部の情報に惑わされて
冷静な判断・行動をすることが出来ていなかった
- ◆ 大人の行動は、子どもにも大きな影響を与えること
から、慎重な行動を心がけてもらえるような効果
的な施策や周知が必要

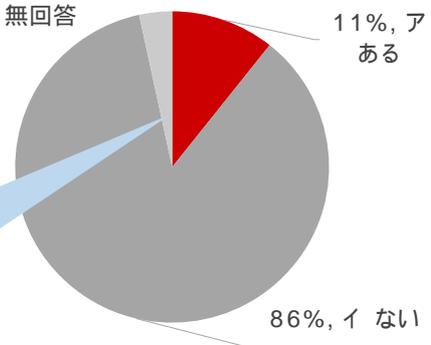
アンケート結果



Q. 子どもから大人(親・先生・大人全員など)に
伝えたいこと・言いたいことはありますか

- ◆ あると答えた人は1割程度 3%, ウ 無回答 11%, ア ある
- ◆ 「ある」具体記述(抜粋)

社会の見本となるべき大人の変な行動
のせい(全てとは言わないが)で感染
拡大していることを痛感して欲しい。





自分たちができること

- ◆ コロナウイルスについて理解を深め、自分たちもできることを考えて、行動に移していく

未来委員会が集まって活動できなかった期間（4月～6月上旬）に、新型コロナウイルスの患者の受け入れをしている医療機関・医療従事者の方に対して、感謝の手紙・ポスターを作成しました。

市立病院へのポスター・手紙贈呈報告



・委員が、家庭で手紙やイラストを描き、事務局がそれをまとめて一つの形にしました。

・完成したものは、6月中旬に松本市立病院に贈呈しました。





ポスター・手紙作成の感想

- ◆ ポスターと手紙を作成したことで、**病院の現状を把握**するきっかけとなり、これ以上負担をかけるないようにしようと改めて自覚することができた。
- ◆ **3密を避ける等、医療従事者の方にとって良いことは何か**ということを考えることにつながった。



サポーターから一言

- ◆ **子どもならではの意見、積極性、発想に驚く**ことが多く、自分自身楽しみながら子どもたちと一緒に松本について考えることができ、貴重な経験ができた

令和2年度 新型コロナウイルス感染症による影響アンケートの結果について

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症の流行が、依然として国民の生活に大きな影響を与える中で、子ども達がどのようなことを考え、求めているのかということ进行调查するために実施したもの。

(2) 調査対象及び実施方法

まつもと子ども未来委員会（小学5年生～高校2年生）の委員のクラスの生徒が、自分のクラスの子ども達に調査用紙を配布し、後日回収。

(3) 回答数

学年	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	計
人数(人)	23	91	32	84	30	35	32	327
	114		146			67		327

(4) 調査期間

令和2年9月～10月

2 アンケート調査用紙

新型コロナウイルス感染症による影響アンケート調査

第6期まつもと子ども未来委員会

あなたの学年は_____年生

1 3月の急な臨時休業について伺います。

① 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか。

ア 悲しかった イ 嫌だった ウ おどろいた エ 学校が休みになって嬉しかった
オ その他()

② 休業中の生活で、いつもと変わったことはありましたか。

ア たくさんあった イ 少しあった ウ なかった
エ その他()

③ ②でアまたはイ、と答えた方は、それは何ですか。

ア 生活リズムが乱れた イ 食事 ウ 睡眠時間 エ 勉強
オ その他()

④ 休業中に家族・家庭の中で困ったことはありましたか。

ア 親が失業または収入が減った イ 食事が用意されていなかった
ウ 親が怒ることが多かった エ 親から暴力をふるわれた オ なかった
カ その他()

⑤ 悩んでいること・困ったことを誰かに相談しましたか。

ア した イ しなかった

⑥ ⑤でア、と答えた方は誰にしましたか。

ア 親 イ 先生 ウ 友人 エ 親戚の人 オ その他()

⑦ 休業中に勉強方法や家での過ごし方など自分なりに工夫したことはありますか。

ア 勉強方法を工夫した イ 家での過ごし方を工夫した
ウ 勉強方法・家での過ごし方どちらも工夫した エ 工夫したことはなかった

⑧ ⑦でア、イ、ウ、と答えた方は、どんな工夫をしましたか。

ア 勉強方法()

イ 家での過ごし方()

2 臨時休業が終わったとき（学校が再開した時）についてお聞きます。

- ① 学校が再開すると聞いてどんなことを感じましたか
ア 悲しかった イ 嫌だった ウ 嬉しかった
エ その他（

3 今現在の事について伺います。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩んでいること・困っていることはありますか。
ア ある イ 少しある ウ ない

② ①でアまたはイ、と答えた方はどんなことですか。

③ 今必要なものは何ですか。

- ア 情報 イ 周囲のサポート ウ 相談相手 エ 勉強
オ 安心して生活出来ること カ 友達と遊ぶこと
キ その他（

④ 子どもから大人（親・先生・大人全員など）に伝えたいこと・言いたいことはありますか。
ア ある イ ない

⑤ ④でア、と答えた方は、どんなことですか。

⑥ もし自分が市長だったらどんな政策を考えますか。

ご協力ありがとうございました！

このアンケート調査の結果は、11月21日（土）に行う、第6期まつもと未来委員会の市長提言の
まとめに活用させていただきます。

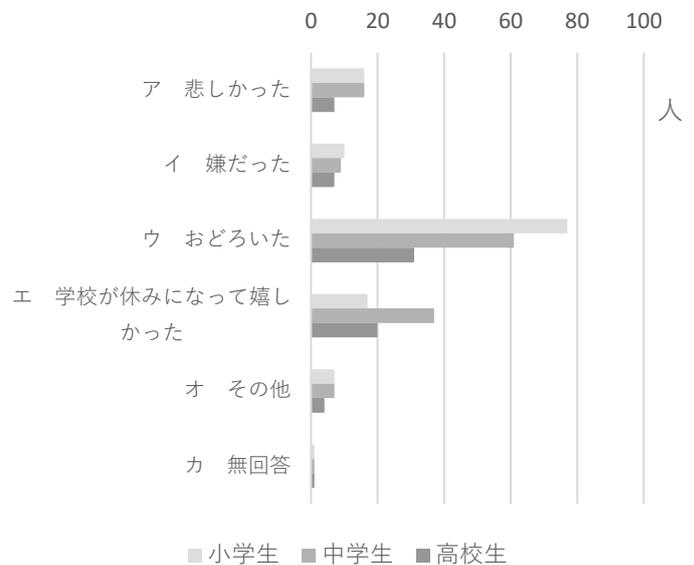
3 アンケート結果

■ 1-① 臨時休業となることを聞いた時に、どんなことを感じましたか

・結果は、最も多く約6割の人が「おどろいた」と回答した。次に、「学校が休みになって嬉しかった」と回答した生徒が多かった。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 悲しかった	39	12.0%
イ 嫌だった	33	10.2%
ウ おどろいた	191	59.0%
エ 学校が休みになって嬉しかった	75	23.1%
オ その他	19	5.9%
カ 無回答	3	0.8%
計	357	



【1-①「その他」具体記述】

(1) 不安・心配

- ・大丈夫かなあと心配した
- ・授業が大丈夫か心配になった (不安も)
- ・少し不安になった
- ・学習格差の拡大や心情の変化が心配になった。当然のことだと思った。

(2) 肯定派

- ・正しい判断をしたと思った (2人)
- ・コロナが怖かったから安心した
- ・やはり休校になるのかと思った
- ・神—————！センターまで休みでいい!!!!

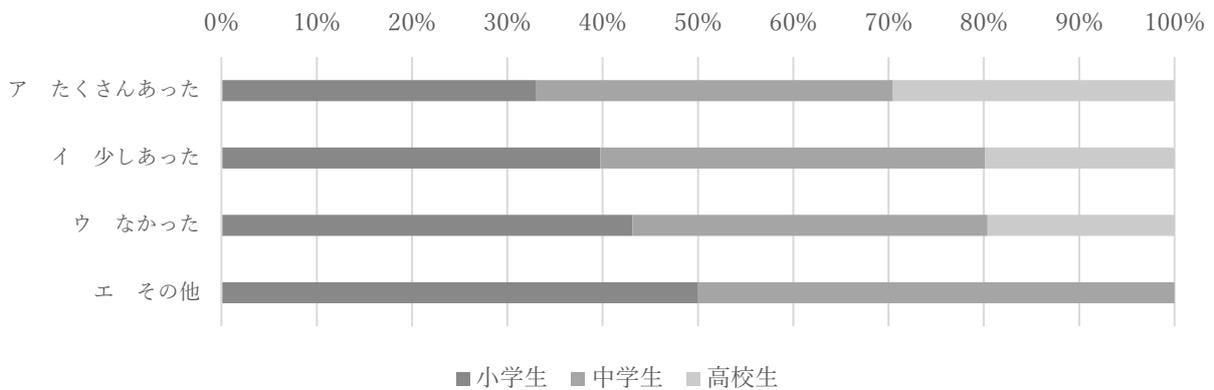
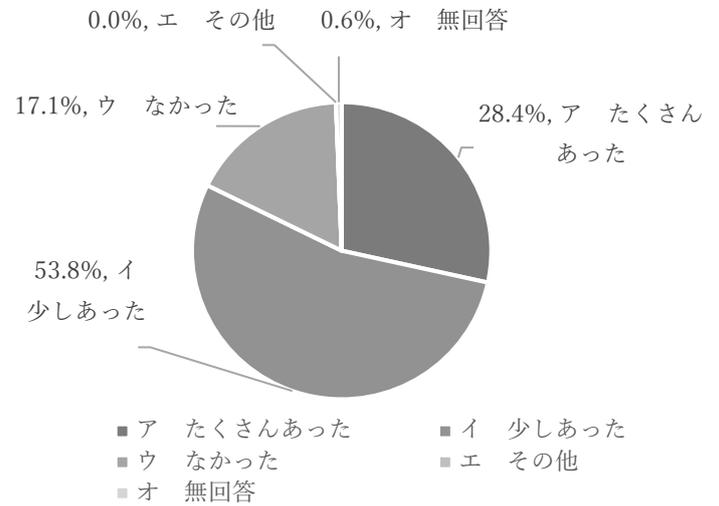
(3) その他

- ・どうでもよかった
- ・なんとも
- ・ナイスコロナ

■ 1-② 休業中の生活で、いつもと変わったことはありましたか

・「たくさんあった」と「少しあった」を合わせると、約8割の人に生活の変化があった。

	人数(人)	割合(%)
ア たくさんあった	93	28.4%
イ 少しあった	176	53.8%
ウ なかった	56	17.1%
エ その他	0	0.0%
オ 無回答	2	0.6%
計	327	100.0%

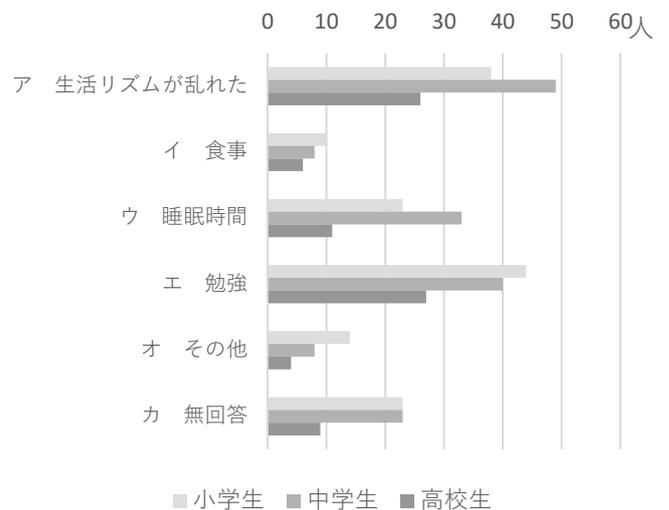


■ 1-③ ②でアまたはイ、と答えた方は、それは何ですか

・生活の変化では「勉強」と「生活リズム」「睡眠時間」の順に多くみられた。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 生活リズムが乱れた	117	43.8%
イ 食事	27	10.1%
ウ 睡眠時間	74	27.7%
エ 勉強	125	46.8%
オ その他	28	10.5%
カ 無回答	60	13.9%
計	431	



【1-③「その他」具体記述】

(1) 勉強
<ul style="list-style-type: none"> ・ 習い事の練習がそんなに出来なかった ・ コンピューターを使う事が多くなった ・ 授業が無い ・ 少しだけ不安だった。「受験はどうなるのかな」と思った。 ・ オンライン授業でスマートフォンを見る時間が増えた

(2) メディア機器の使用
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームの時間が増えてしまった (4人) ・ ゲーム時間が限られた ・ テレビなどの観ている時間 ・ スマートフォンの使用時間が1時間程長くなった ・ 部活でLINEを使ったレッスンが始まった

(3) その他

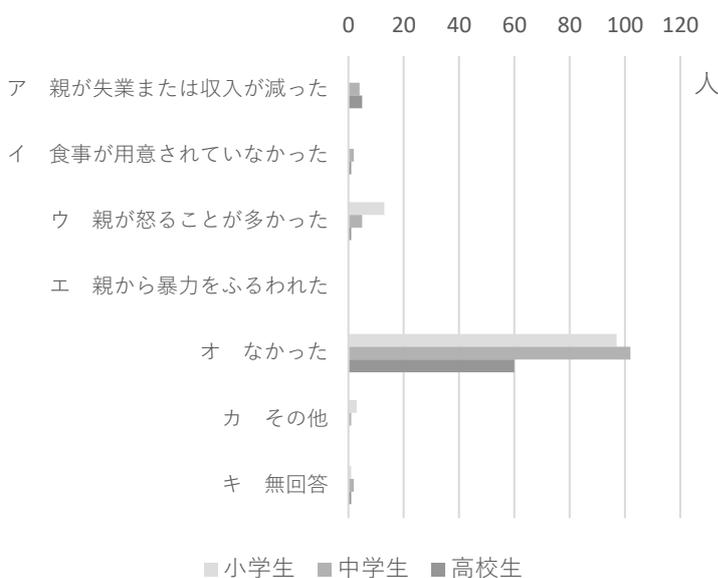
- ・特に無し (2人)
- ・マスク
- ・外に出た時マスクをする
- ・友達や彼女との関係
- ・運動
- ・太った

■ 1-④ 休業中に家族・家庭の中で困ったことはありましたか

・結果は約9割の人が「なかった」と回答したが、「食事が用意されていない」「親が怒ることが多かった」「親の収入が減った」などの回答もみられた。

(複数回答のため、100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 親が失業または収入が減った	9	2.8%
イ 食事が用意されていなかった	3	0.9%
ウ 親が怒ることが多かった	21	6.5%
エ 親から暴力をふるわれた	0	0.0%
オ なかった	287	88.9%
カ その他	323	1.5%
キ 無回答	4	0.6%
計	647	



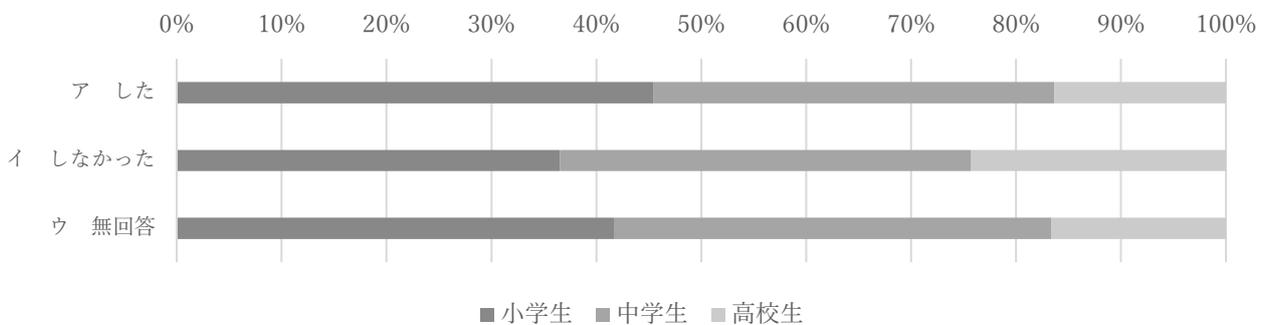
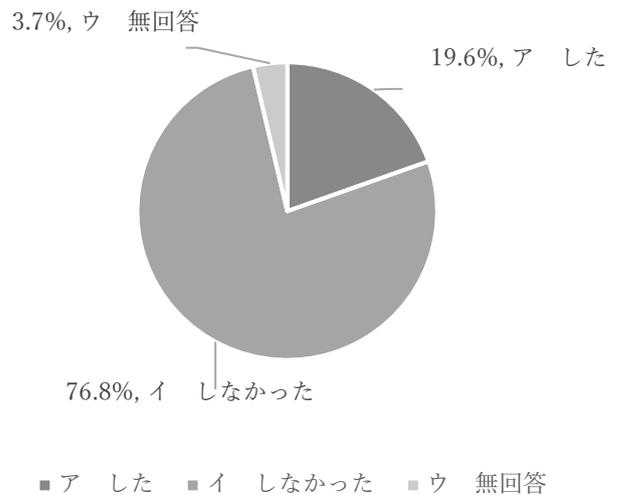
【1-④「その他」具体記述】

- ・お婆ちゃんの家にいる事が多かった
- ・家族との仲が深まった
- ・学校に行けなかったからつまんなかった
- ・親から病気をバカにされた

■ 1-⑤ 悩んでいること・困っていることを誰かに相談しましたか

・結果は約2割の人が「相談をした」と答えた。

	人数(人)	割合(%)
ア した	64	19.6%
イ しなかった	251	76.8%
ウ 無回答	12	3.7%
計	327	100.0%

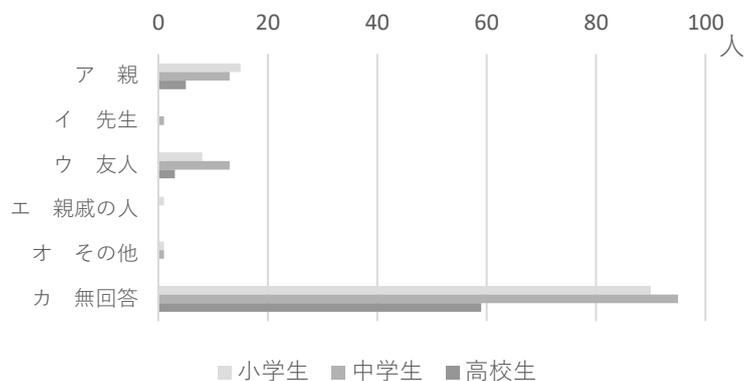


■ 1-⑥ ⑤でアと答えた方は誰にしましたか

・最も多かった回答が「親」、次に多かった回答が「友達」だった(無回答除く)。

(複数回答のため100%を超えています)

	人数(人)	割合(%)
ア 親	38	61.3%
イ 先生	1	1.6%
ウ 友人	29	46.8%
エ 親戚の人	1	1.6%
オ その他	2	3.2%
カ 無回答	265	78.9%
計	336	



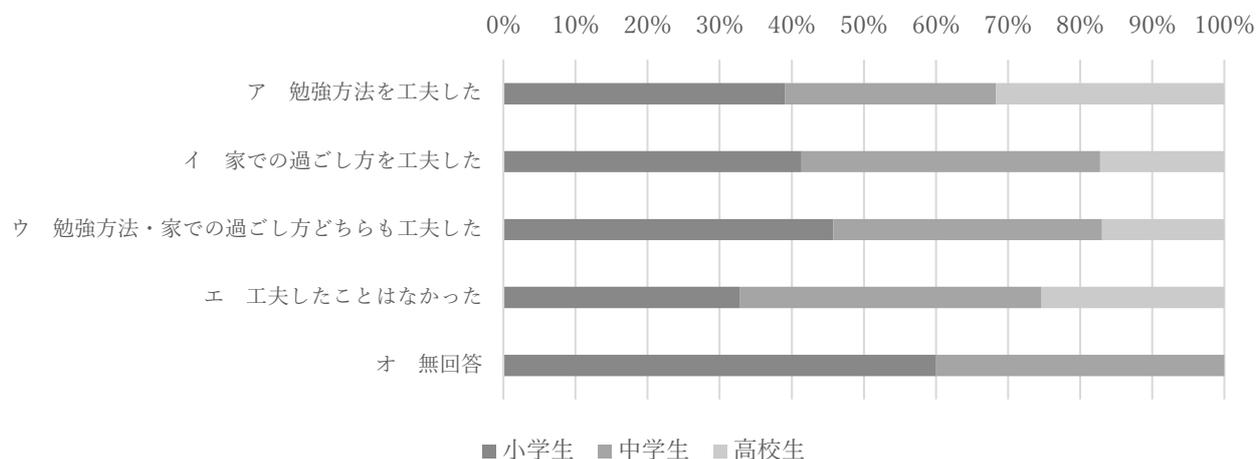
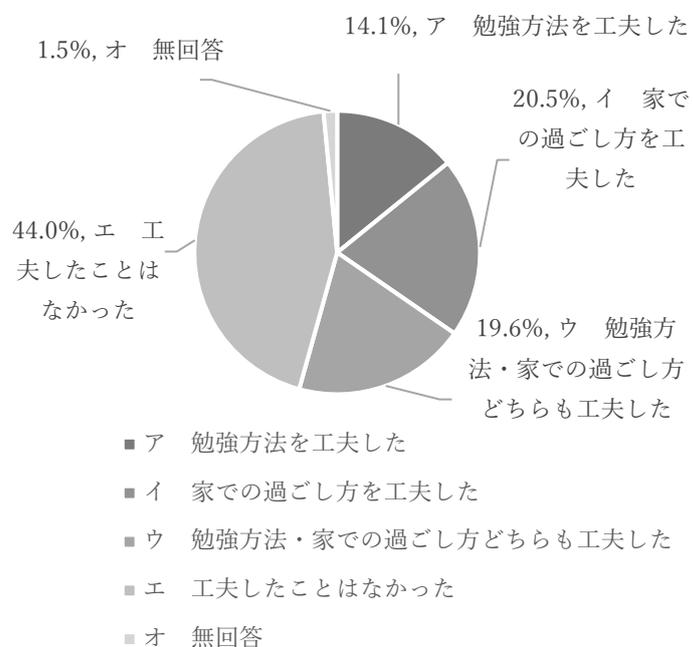
【1-⑥「その他」具体記述】

- ・お姉さん
- ・人形

■ 1-⑦ 休業中に勉強方法や家での過ごし方など自分なりに工夫したことはありますか

・5割以上の人は何らかの工夫をしていたと回答した。

	人数(人)	割合(%)
ア 勉強方法を工夫した	46	14.2%
イ 家での過ごし方を工夫した	67	20.7%
ウ 勉強方法・家での過ごし方どちらも工夫した	64	19.8%
エ 工夫したことはなかった	145	44.8%
オ 無回答	3	0.9%
計	325	100.0%



【1-⑧ 具体記述】

○勉強方法の工夫

(1) 時間
<ul style="list-style-type: none"> ・時間を決めて行った (26人) ・学校の授業と同じ時間で勉強した (11人) ・タイムを計って、集中して勉強した (4人) ・よく集中力が続く時間帯に集中的に勉強した (3人) ・毎日、最低3時間勉強した (2人) ・時間を有効的に、効率よく使えるようにした (2人) ・何時間も続けて勉強しない様にした ・勉強時間の確保

(2) 量
<ul style="list-style-type: none"> ・1日にやる量を決めて頑張った (5人) ・問題をいつもより多くといた (4人)

(3) やり方
<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てて勉強した (12人) ・タブレット (インターネット) を使った勉強 (8人) ・予習, 復習をした (5人) ・教科書などを見返した (3人) ・ドリルや問題集をした (2人) ・いつものやり方とは違ったやり方 (2人) ・勉強環境を変えた (2人) ・その日行ったオンライン授業での復習や課題の進め方 (2人) ・苦手だったことを再確認しつつ予習の時間を多くした (2人) ・テキストなどで用語、やり方を覚えるまで書いた ・自分に合う勉強方法を探しながらやった ・自分に合う方法を見つけるために、色んな問題集をやってみた ・主にチャレンジや、スマホのアプリ (勉強) を使った。 ・宿題と別で、色んなドリルをやった ・NHKの動画や教科書を多く使った ・テストをやった ・1つの事をじっくりやった ・問題を沢山解く、理解し直す ・自分で考えても分からなかったら親に聞いた ・算数と国語を普段より沢山勉強するようにした

(4) その他

- ・電子端末使わない
- ・ゲームをあまりしないこと
- ・いっぱい勉強する為に、パソコンとスマホの排除
- ・ペイシステム、勉強した分ゲームが出来る
- ・1日5時間以上やれば遊んでいい
- ・家でも私と兄だけの〇〇学校を作って毎日勉強した
- ・1つ1つ丁寧に集中出来るように物を片付けた
- ・頑張った

○家での過ごし方の工夫

(1) 生活リズム

- ・計画を立てて行った (12人)
- ・生活リズムを整えた (7人)
- ・だらだらしないでメリハリをつけること (6人)
- ・生活リズムが崩れないようにした (5人)
- ・学校と同じスケジュールで動いた (4人)
- ・早寝早起きを怠らずに生活リズムを整えた (3人)
- ・いつもより少し早く起きた (3人)
- ・生活リズムが乱れてしまったので、普段の生活でしている事をするという工夫
- ・睡眠時間を固定した
- ・よく寝る
- ・時間厳守
- ・留守番をしている時は休憩時間にした。
- ・早起きをしてお散歩するようにした
- ・いつもは遅く寝る事が多いけど、早く寝た
- ・お昼寝
- ・食事の時間を守る事。
- ・なるべく寝ない様に気を付けた、夜の睡眠を減らして、こまめな昼寝を設けた
- ・暇な時間の使い方を変えた

(2) 運動

- ・体を動かした (5人)
- ・外で体を動かす (5人)
- ・家の中でも体幹トレーニング、ストレッチなどをした (4人)
- ・ストレスを溜めないように体を動かしたりした
- ・ゴロゴロしている時間が多かったので、運動時間を増やした
- ・弟と運動をした。外に1日1回出る事を心掛けた
- ・腹筋や腕立てをした
- ・ラジオ体操をした
- ・ずっと家に居るので、体力が落ちないように筋トレをした

(3) 家族

- ・家族で話す時間を増やした (2人)
- ・家の中でも楽しく遊べるように弟と遊べる事を考えて遊んだ
- ・家族と一緒に色々な事を楽しんだ
- ・家の人と会話する回数を意識的に増やした
- ・家族といる時間が長かったので、それを大切にしたい
- ・弟と遊んだり、家族と過ごした
- ・外へ出られないので家族との時間が増えた
- ・家族が楽しく過ごせるような工夫

(4) 家事

- ・手伝いをした (17人)
- ・料理をした、食事を作った (2人)
- ・片付け等
- ・パンやお菓子を作ったり、料理をした
- ・自分で炊事をした
- ・家の仕事を少しでも減らす事
- ・家事を積極的にやった

(5) 趣味

- ・本を沢山読んだ (2人)
- ・本を読むようにした (1時間くらい) 精神統一
- ・ゲームしたり友達と遊んだりした
- ・手芸やDIYなどに挑戦してみた
- ・工作などをした
- ・普段忙しくてできない事をした 趣味とか
- ・絵を描くなど
- ・たまにゲームをしていた
- ・ボードゲームをした
- ・暇な時間にいつも出来ないような物を作ったこと
- ・やりたい事が出来るように時間をたてた

(6) 衛生・コロナ

- ・できるだけ外に出ない (2人)
- ・食事の前の手洗いをするようにした、友達を家に呼んだりはしないようにした
- ・家の中でも消毒をした
- ・こまめに手洗いをし、時間をつぶした
- ・換気をよくした
- ・マスクを常に着ける
- ・毎回勉強するところを掃除した

(7) その他

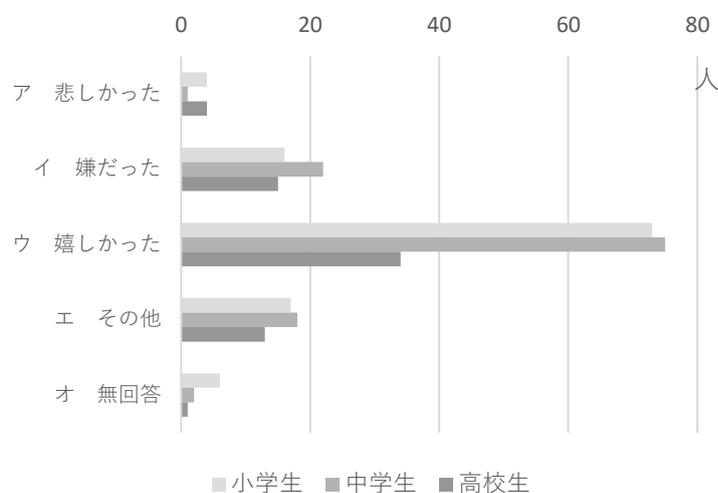
- ・ゲームやテレビを見過ぎない様にした (2人)
- ・勉強時間以外は、スマホを見ない様に心掛けた
- ・黙ってテレビを見て、黙って勉強すること
- ・今日の活動を毎朝頭の中でまとめた
- ・だらだらしないように勉強が終わった後休んだり遊んだりした
- ・やった事のない事を工夫した
- ・沢山ある時間の中で、普段出来ないような事をした (部屋の片付けや整理)
- ・自分で沢山やっていたアプリをやめた
- ・いつもだとやらないことをやった
- ・気分転換をしてメリハリをつけた
- ・少しずつ休憩を取ったところを2つにして、2つやって休憩した
- ・退屈にならない様に自分でも工夫した
- ・勉強以外の事を普段より多くやるようにした
- ・習い事の練習をしたりした
- ・なにかした

■ 2-① 学校が再開すると聞いてどんなことを感じましたか

・「嬉しかった」が最も多く6割を超えており、2割が「悲しかった」や「嫌だった」と回答した。

(複数回答のため100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 悲しかった	9	2.8%
イ 嫌だった	55	17.3%
ウ 嬉しかった	207	65.1%
エ その他	52	16.4%
オ 無回答	9	2.7%
計	332	



【2-①「その他」具体記述】

(1) 無関心
<ul style="list-style-type: none">・特に何も感じなかった (6人)・普通だった (5人)・特に何も思わなかった (3人)・なんか あ 始まるのか くらい・どうでもよかった・「へえ～」って感じだった・なんとも・普通だと思うから何も思わない・「ほお、始まるのか」という感じ、特には何も思わなかった・〈・_・〉・始まっても、休みでも良かった

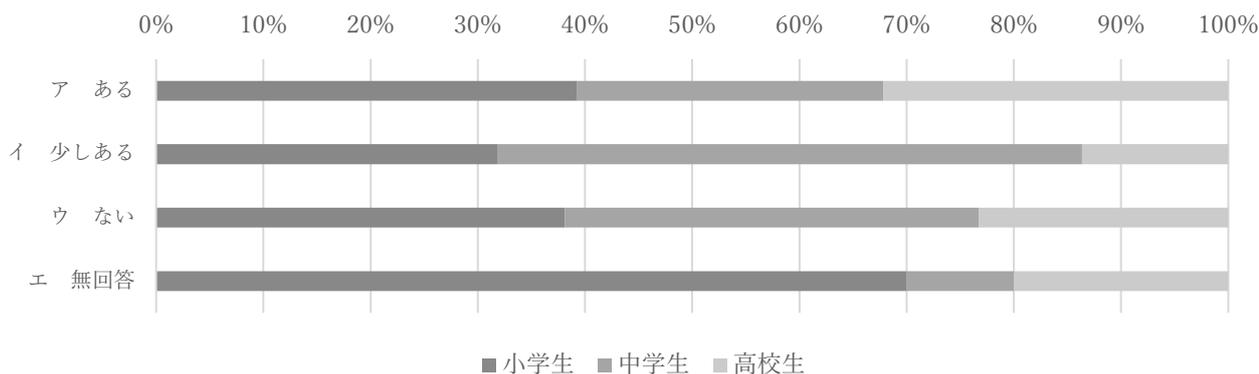
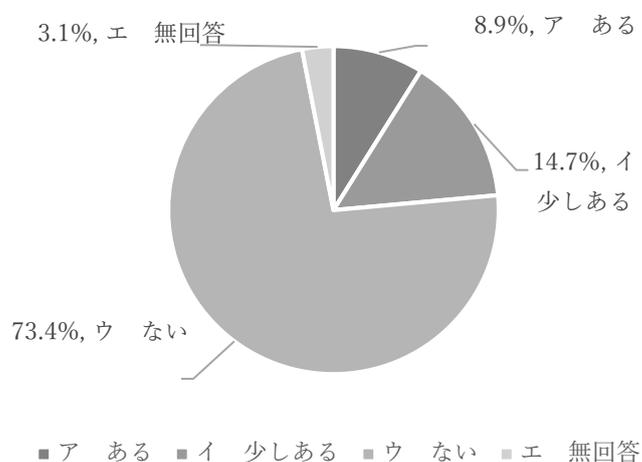
(2) 不安
<ul style="list-style-type: none">・不安だった、かからないか心配だった (3人)・入学式をやって2、3日程で休業になってから大分経ってからの再開で、クラスの人達とほぼ初めて会う感じがあったので緊張していた・学校の感染対策や全国のコロナ患者拡大が非常に心配になった・コロナが心配だった

(3) その他
<ul style="list-style-type: none">・驚いた・休校で、学校にも行かれてなかったのが嬉しい・生活リズムを直せなかった・ホッとした・嫌だったけど、皆に会えて嬉しい・課題が終わらない・授業をしっかり受けられるのは嬉しかったが、長い事家にいたので、少し悲しかった・久しぶりに友達に会えるのは嬉しかったけど、勉強や早起きの生活が戻ってくるのが少し嫌だった・友達に会える嬉しさと、また明日行かなければいけないめんどくささで5 : 5だった・やっとかと思った

■ 3-① 新型コロナウイルスの影響で悩んでいること・困っていることはありますか

・7割以上が「ない」と回答したが、約2割の人は「ある」「少しある」と回答した。

	人数(人)	割合 (%)
ア ある	29	8.9%
イ 少しある	48	14.7%
ウ ない	240	73.4%
エ 無回答	10	3.1%
計	327	100.0%



【3-②「その他」具体記述】

(1) マスク

- ・マスクが嫌 (5人)
- ・マスクをしているため、暑い (2人)
- ・マスクが辛い、遠征に行けない
- ・クラスの中で、マスクを外して話したり、密になっていたりする事がある
- ・クラスや学年にマスクを嫌がって、マスクをせずに大きな声で話す人が少し怖い
- ・マスクをずっとしてるのが、いつもと違って違和感があった
- ・マスクつけるのがめんどくさすぎる
- ・マスクしないと白い目で見られてる気がする
- ・マスクをつける生活に疲れています
- ・マスクで肌荒れする
- ・運動した後にマスクを外すから、友達と喋れないこと

(2) 外出

- ・おじいちゃん、おばあちゃんに会えないから心配 (3人)
- ・友達と色々な所へ出かけられない (3人)
- ・遊びにも旅行にもあまりに行けていない (2人)
- ・GoTo～みたいな事が増えていて、ただでさえおさまっていないのに、増やそうとしているようにしか思えない
- ・夏祭りや海水浴など、夏休みらしい事が出来なかった (休みも少なかったし…)
- ・外出や友達と遊ぶ時などに色々な制限が付く
- ・外出の数が減った
- ・ユニバに行きたいけどコロナになりそうでなかなか行けない
- ・県外に行ったり、友達と遊んだり (ショッピングモールなど) する事が不安
- ・好きなところへ好きな時に、自由に行くことができない事
- ・来年から受験勉強が始まって、今年しか遊べないのにコロナでどこへも行けなかった
- ・家族や友達と自由に出かけられる場が少ない
- ・色々な所に行けなくなった (県外に) こと
- ・遊べない

(3) 勉強・学校・部活

- ・部活の試合が中止になった (3人)
- ・部活の大会がなくなってしまったこと (2人)
- ・感染者が急増し、学校や部活の行事が無くなってしまったこと
- ・また休校になったらどうしよう
- ・学校の旅行とか、祭りがこれまでとは違う感じになったこと
- ・色々な行事やスポーツの大会がなくなった
- ・吹奏楽部の練習時間が減った
- ・習い事の大会が次々に無くなっていった
- ・部活の大会がなくなってしまわないか心配
- ・学校の勉強がしっかりできているかという事
- ・学校行事や部活動でのイベント、外出などが制限されてしまい、楽しみにしていた行事などがほとんどなくなってしまった事
- ・習い事が少なくなってしまったこと
- ・大会が無くなったりして、アピールの場が減った事
- ・勉強
- ・進路
- ・受験の事
- ・色々な交流がなくなったりする事
- ・学校行事、部活の試合が普通に行えないこと
- ・部活が例年と違う予定になって困っている
- ・行事が中止、延期になったり縮小された。大会 (部活の) が減ってしまった。
- ・普通に文化祭が行われないこと

(4) 感染

- ・自分や周りの人が感染したら怖い (3人)
- ・自分がかかってしまわないか心配 (2人)
- ・コロナウイルス対策はしていますが、「このドアノブにコロナがあるかも」などと心配してしまい、きりがなくなってしまう事がある
- ・インフルエンザみたいに普通に当たり前に感染するかもしれないから、少し嫌だなと思った
- ・自分が感染して、それがお婆ちゃんとかに感染するのがとても心配
- ・自分がかかったら、学校に迷惑がかかるから
- ・車とかで買い物や出かけたりすると、県外から来ている人が多くて少し怖かった
- ・体育で友達が大きな声で呼びかけをしてくれてたけど、その近くに人がいて、どうなのかなと思っている
- ・家族がかかってしまって、友達とかに避けられるのではないかと
- ・コロナが怖い
- ・クラスに入るのが怖かった

(5) その他

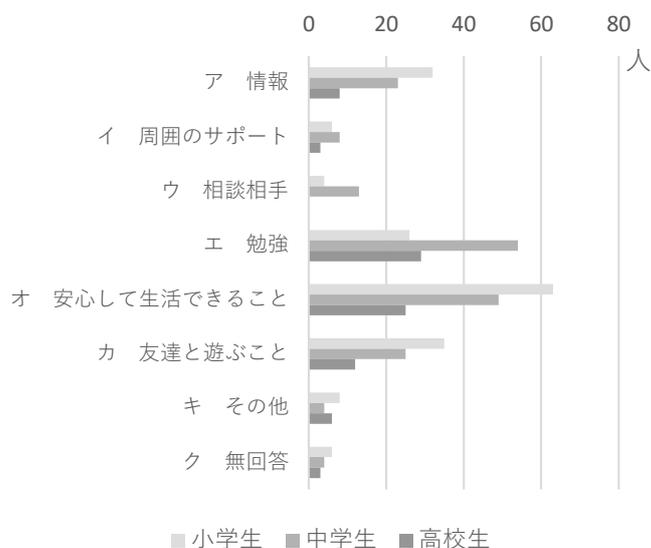
- ・行きたくない、退屈、つまらない、めんどくさい
- ・生活の制限がある
- ・母が怒ることが多い
- ・普段は出来る事がコロナのせいでできない事
- ・病みやすくなった
- ・ソーシャルディスタンスの使われ方が変な方になっていた
- ・密を避ける事が意外と難しい。コロナによる差別や偏見が酷い。
- ・部活が無くて、体をうまく動かせなかったので、今どうやって元に戻そうか困っている
- ・様々なことが出来る最後の年なのに体育祭も宿泊行事もなくなり、模擬国連等の課外活動にも参加できなくて、このままだと全て中途半端なまま終わってしまい、来年受験に集中できる気がしない

■ 3-③ 今必要なものは何ですか

・「安心して生活できること」と「勉強」と回答した人が多く、次に「友達と遊ぶこと」と回答した生徒が多かった。

(複数回答のため 100%を超えています)

	人数 (人)	割合 (%)
ア 情報	67	21.3%
イ 周囲のサポート	17	5.4%
ウ 相談相手	17	5.4%
エ 勉強	126	40.1%
オ 安心して生活できること	149	47.5%
カ 友達と遊ぶこと	76	24.2%
キ その他	19	6.1%
ク 無回答	12	2.5%
計	483	



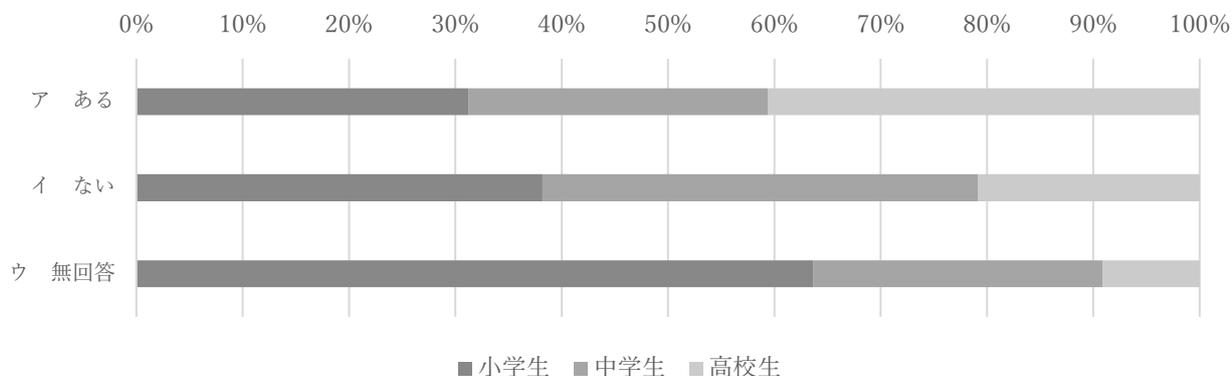
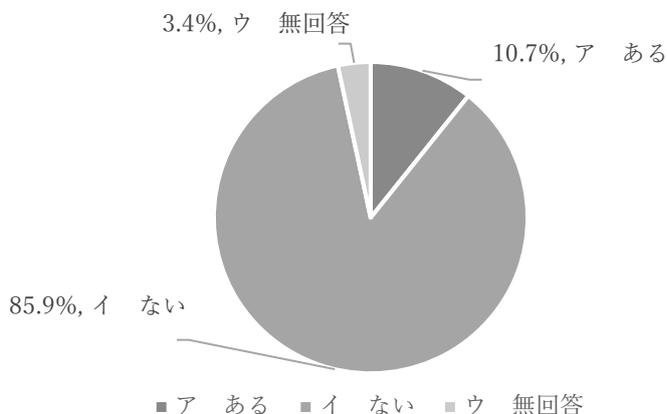
【3-③「その他」具体記述】

- ・無い (8人)
- ・本
- ・コロナウイルス絶滅マシン
- ・思いやりと協力
- ・金
- ・彼女との関係
- ・差別の防止
- ・新しいグラボ
- ・時間

■ 3-④ 子どもから大人（親・先生・大人全員など）に伝えたいこと・言いたいことはありますか

・約1割の生徒が「ある」と回答した。

	人数 (人)	割合 (%)
ア ある	35	10.7%
イ ない	281	85.9%
ウ 無回答	11	3.4%
計	327	100.0%



【3-⑤「ある」具体記述】

(1) 要望等

- ・コロナ対策として、大人の危機感をもっと上げて欲しい
- ・コロナの話をするのは2日に1回位にして欲しい（本当に必要だと思う事だけを話して欲しい）
- ・部活の疲れがたまり、週末にはよく風邪気味になるので、時間短縮や休みを増やしてほしい
- ・子供は子供なりに考えています。
その人のしている行動、話し、間違っていたとしても、全てを否定しないで下さい。
コロナで辛い子供が今多いと思います。 だからこそ全てを否定しないで。
- ・コロナに感染する人が後を絶たないので、減らすようにしてほしい
- ・東京などの首都圏に住まわれてる方々が、「夜の街」というところで感染者が多く発生し拡大しているため、「自分の勝手」のような大人の意識を改めて欲しい
- ・まずは、自分の身体を第一に考えて、コロナにならない、ならせないように気を付けて欲しい
- ・もっと明るい情報を出して欲しい。危機感は生まれるが不安も出てきてもっと世の中が暗くなるから
- ・必要異常な過度なことはしないで欲しい。いつまで続くか見当もつかないものにばかり目がいくと他の事を見失う。
- ・医師、看護師への差別 心当たりのない店などへの差別をやめること、この人達がいることで社会が成り立つ。
- ・大人が出かけた時にコロナに感染して、他の大人にうつしてるからもっと対策をして、子どものお手本になって欲しい。

- ・もう少し大人にも危機感を持って欲しい
- ・具体的な対策をして欲しい
- ・子どもの事も考えて欲しい！
- ・運動会がやりたい!!
- ・コロナ関係の差別や偏見は100%やめて欲しい。休校中の学習方法（プリントのみ）だと、勉強にならないし、力が全くつかなかった。子供は我慢できるのに、社会の見本となるべき大人の変な行動のせい（全てとは言わないが）で感染拡大していることに責任を痛感して欲しい。休校中のこちらに対する対策や政策が何もなくて嫌だった。頼りにしなくなった。
- ・感染が拡大して修学旅行に行けなくなったりする等、様々な事が出来なくなっているのだから、感染したら自分や身近な人だけではなく、全く関係のない人にも影響があるという事を理解して欲しい
- ・コロナ対策で様々な行事が中止や変更になっていて、進学に影響がある人の存在や、普通の生活を送れない人もいることも分かって欲しい
- ・感染者が出ないように引き続き感染対策を行ってください。
- ・国や地方の借金を減らし、役所の古い体質を変えていないのに、人材不足というのをやめてもらいたい

(2) 感謝

- ・親に、コロナで大変な状況だけど、仕事をしたり、家の事をしてくれてありがとう
- ・大変な状況でも色々な工夫をしてくれてありがとうございます。
- ・親も先生も精一杯やってくれていると思います
- ・いつもありがとう
- ・子どもの気持ちも考えてくれると嬉しいです！（今でも十分だけどもう少し）

(3) その他

- ・コロナは自然のものではなく、人工物で蝙蝠が発生源と片付けようとしていること
- ・親へ、休校中ずっと家にいたのに家事何にもできなくてごめんなさい
- ・大人に支配されたくない
- ・コロナを危ないものだと見過ぎていると思います。コロナの死亡数もあまり多くないですし、死んだ方は他の病気が元になったものが多く、金を貰うためにコロナでの死亡にしている人もいると思うし、コロナでこんなに騒ぐのにインフルは特に対策しないのは恥ずかしいと思います。それより経済活動が衰退する方がヤバイと思います
- ・学生がしていないと色々言うてるのに、大人がマスクをしていないのはどういった事ですか？勉強して夜9時に駅のホームに着いたら知らない人にコロナについて怒られる理由は？
- ・この状況を乗り越えるために、一人一人が最善をつくし、収束するまでがまんするということ
- ・頑張る

■ 3-⑥ もし自分が市長だったらどんな政策を考えますか

(1) 学校、学業、部活動等
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業にする (5人) ・休校にする (3人) ・学校を一年間休校 (2人) ・各学校の昇降口に体温計を設置する (2人) ・コロナがもう少しおさまるまで休校にする。宿題は大変だと思うけど、保護者メールなどで連絡して伝えてもらう ・学校には2つのグループに分けて、1日交替で通う ・友達と勉強したくても席が離れちゃう (ソーシャルディスタンスなどで) からオンライン勉強会をやったり、休校中のオンライン授業で分からなかった所を再確認できるように授業数を増やす ・学校には出来るだけオンライン授業をするように要求。インターネット関係が難しい家庭には学校に特別教室を一時的に作りそこで行う ・教室を増やして密を防ぐ ・学校への消毒液の増量 ・コロナが終わるまで学生はオンライン授業 ・学校を休校にして、授業のおくれが生じるため、オンライン授業での授業を行う。その授業で分からなかった時のために分散登校を呼びかけ、理解が深まるような対策をする ・各学校と協力して行事をなるべく出来るようにサポート (運動会、音楽会、修学旅行とか) ・オンライン授業の取組みを助ける ・各学校に1人1台分のiPadを支給し、オンライン授業にする ・また休校になってしまった時のためにオンライン授業の整備をし、無償で機器を貸し出す ・情報をもとに考えて場合により、学校を休業する ・リモート環境を整え在宅通学できるようにする ・家でも学校で学ぶような学習が出来るように、学校側にオンライン授業の要請をする ・嫌な気持ちになる人がいないような学校再開後の措置 ・部活の大会や発表会が出来なかった人たちのために、メディア取材などをして、テレビで発信をする ・金管の県内での大会が出来るようにする ・小中高生全員にタブレットを配布して、家と学校で繋げて授業を行う ・修学旅行に代わる旅行の手配 ・コロナの影響でできなかった部活の試合や、その他の事が沢山あるので、子ども達の心のケアも含め、中止になってしまったものを小規模でも開催したり代わりにする事を考えて感染対策をしながら子どもたちを楽しませる

(2) 外出等
<ul style="list-style-type: none"> ・市を封鎖する。一切外に出ずに生活。外に出る時は、マスク・消毒持参。 ・外出を控えてもらう ・外出禁止 ・GoToトラベルなんてやらないで、市民に無駄な外出をしないように呼び掛ける

- ・外に出る時はマスク 多人数での外食は×。人がいる所で大きな声で喋らない。バスや電車は走っている時少し窓を開ける
- ・もし、市内の感染者が増えてきたら、1週間市民全員が家から出てはいけない
- ・ほぼ完全にコロナが収束するまで、外出自粛要請をだす
- ・マスクの着用、3密、飲み会などをすると罰金
- ・外出自粛・マスク着用・3密をできるだけ避ける
- ・マスク・手洗い・うがい、あまり外に出ないという事を意識してもらって、かかったと思った人は、すぐ病院で検査させる。
- ・仕事以外の遠方からの行き来を禁止する
- ・県外からの人を断る
- ・外にあまり出ないでと言います。多分。市民に迷惑かけたくないので難しいですね。
- ・周りの外出の量をもっと減らしてもらう
- ・2週間ずっと外出するのを極力控えてもらう対策
- ・皆が安心して生活できるように、県外からとの接触を少しでもおさえていくことです
- ・長野県に訪ねて、県外からの入県者を入れない様に言う事
- ・県外に出ない様にする。出たら5万円の罰金をする
- ・旅行、観光目的の高速道路の使用を禁止する
- ・県外に出ない様に呼びかける
- ・県外に出ない事やマスクをつける事を呼びかける
- ・出来るだけ県外に行かない様にして、県外から人が来ない様にする
- ・長野県から外に出ない様にと行って他のところからも来ないでと呼びかける
- ・GoToキャンペーンをやめる!!
- ・家から出さない
- ・今やっていると思うけど、県外へ行くなど控えたり、出来る限りの政策をみんなで考える
- ・効果なくても、外出禁止令をだす
- ・これ以上感染が増えないようにもっと注意する。(なるべく出歩かないでなど)
- ・県外に出ない事を呼びかける
- ・歩くとき、間を空けて歩かせる
- ・県外へ行く事を禁止する
- ・他県へ行かないことを呼びかける
- ・旅行に行くのはやめましょうって言う
- ・県外に行かない
- ・なるべく家にいさせる
- ・なるべく外へ出ない
- ・家に自粛要請を呼びかける
- ・外出自粛の呼びかけ
- ・県外への移動の制限し県に要求。地区などで外出できる時間帯をずらす、通勤通学の時間帯もずらす
- ・イベントを縮小または中止、延期にする
- ・他県から来る人の制限
- ・自粛を頑張った人にご褒美をあげる

(3) 配布等

- ・給付金を給付する (9人)
- ・足りないものの寄付など
- ・マスク配布
- ・マスクがない家庭もあると思うから、1週間に1家族5枚位のマスクをあげたい。
- ・マスクを配ったりなどして安心安全な市にしたい
- ・もっと皆さんが安心できるように、呼びかけや、ポスター、マスクなどを配ってみたいと思います
- ・マスクが無くなってきているかもしれないから、マスクを何枚かあげる
- ・給付金をする時に、もっとスムーズな対応をする
- ・外出を控えて頂きたいものの、体を動かしたり、勉強もしなくてはならないから、全員に授業用のタブレットの支給と、外で体を動かす為の蒸れ軽減と通気性の良い安全なマスクを支給
- ・顔の見えるフェイスシールドを1人1人に配る
- ・マスクの着用+一家に消毒を配布
- ・自分はコロナが心配な人の相談相手になり、1~3カ月に1度お金を寄付してもらい、そのお金を市民に配布したいです。コロナウイルスのワクチンができれば、誰でも無料で受けられるようにしたい
- ・地震及び災害、遭難のため自衛隊基地の設営。教育社会保障のため、市民税増税。コロナ禍をおさまらせるため、給付金有りでのマスク着用命令・要請。息苦しくならないマスクの開発。マスク、消毒液の確保
- ・失業した人や収入が減って生活が出来ない人に給付金40万円をあげる。マスクを無料で提供する。
- ・きちんとしたマスクを配る
- ・買い物した際にお金を還元するサービス
- ・病院に市民から回収したアベノマスクを渡す
- ・お金を少しずつ失業した人を対象に与え、市民対象の上記のようなアンケートを半月に1度インターネットを通して行う
- ・マスクと消毒液を配る
- ・各家庭に10万あげる (困っている人にアンケート)
- ・失業したり、医療従事者の人にお金を給付する
- ・消毒液を配る
- ・紙マスク配布
- ・市内だけベーシックインカムを導入する
- ・フェイスシールドを配る

(4) マスク・3密・消毒

- ・手洗いうがいマスクの徹底 (12人)
- ・マスク・消毒徹底 (6人)
- ・3密を避けるよう呼びかけたりする (2人)
- ・5人以上の集まりを禁止する (2人)
- ・マスクを着けていない人には、マスクを配って必ずマスクをつけてもらう
- ・コロナウイルスがおさまるまで、子どもから大人まで、マスクの着用をお願いするという政策
- ・出来るだけ人を避ける マスクは必ずつける など…?
- ・市長みずからマスクをつける事を呼びかける

- ・マスクつける事や、3密を避けたりする事を呼びかける
- ・外へ出る時はマスクをつける
- ・マスクをつけて出かける「決まり」を作る
- ・今と同じような感じで、マスクや手洗いなどの対策
- ・マスクをしっかりと付け、密にならない様に工夫して生活をする
- ・マスク着用の呼びかけ
- ・3密にならないように気をつける
- ・3密を避けるような対策をする
- ・夏でもマスクは常にしなければならない
- ・大人数での密を避ける
- ・密になる行事などを中止とする
- ・コロナの予防の徹底
- ・消毒する
- ・外に出る時はマスクを着けてこまめに手洗いなどよびかける
- ・中国で感染した時からマスク着用、ソーシャルディスタンス
- ・外に出ないようにと、マスク、手洗いをしっかりする事を呼びかける
- ・ソーシャルディスタンスを徹底する
- ・手指消毒の徹底

(5) 施設

- ・営業時間短縮（3人）
- ・無料でPCR検査を出来るようにして、皆、検査を出来るようにする
- ・快適に勉強や仕事出来る場所を提供する
- ・相談できる場所をつくる
- ・今もある通り、感染予防の正しい情報を出す。お店、街の安全確認
- ・子どもが楽しく予防できるような対策（手洗い場をカラフルにしたり、マスクに柄を付けたり）
- ・電話での相談事業をアピールする
- ・町や学校の掃除を増やす
- ・コロナでストレスが溜まっていると思うから、悩んでいる事を気にせずに相談できる場所を設ける
- ・全ての公共施設に入る時、消毒と体温を測ることを徹底し、マスクも徹底的に着用させるようにしたいです
- ・まず、市民の思っている事、やって欲しい事などの願いを聞く→願いを基に実行する。子どものための無料電話相談室を作る。相談の電話をしたくても携帯を持っていなかったり、お家の人に言えない子のために作ると思います。会って話したくない人もこれなら大丈夫だと思います。
- ・市内の学習スペースを増設
- ・飲食店
- ・マスク、アルコール消毒を必ずつけてもらう事、換気への協力、デパート、スーパーなどの入場制限（人数が多過ぎる場合）
- ・ショッピングモールなどの駐車場を1/3は使えなくして、マスク着用してもらう

- ・スーパーなどを区域で時間をずらしたり、必ずマスクの着用をする事などを考える
- ・コロナで悩んでいる人のための相談室などをつくる
- ・地域のお店で使えるクーポンや商品券を配布したり、売ったりする（インターネットでの販売を中心とした方が密にならないためいいと思う）
- ・経済面的サポートから市から飲食会社再開後に補助金を出しサポート
- ・医療体制をなるべく維持したいので病棟の確保とホテルなどの協力をもらう。募金を募る
- ・公共施設の消毒をこまめに行う（バスやタクシーも行う）
- ・コロナウイルスに感染しない様に臨時休業を少し増やす
- ・臨時休業をもっと増やしてしっかりと収まるまで待つ！感染してからじゃ遅いので
- ・ショッピングモールなどでの密になる場所の人数制限など
- ・コロナによってオンライン化が進んでいるので、パソコンなどのインターネット環境の手配をする
- ・仕事や学校などに行った時にアルコールを入口に置く
- ・今もやっているように健康観察カード的なのをやり、店に入る時は必ず検温をして、消毒などをやる
- ・安全第一に考える
- ・密にならない様、施設では間隔をとった印を書く
- ・店に消毒液を配る
- ・JRなどとも協力して、電車の車両を増やす。密を避けろと言われてますが、電車内はとても沢山の人がいて密になっているからです

(6) 経済

- ・職がない人に職を与える
- ・経済が回るように運搬に力を入れる。（木を買って植えたり、資源を買ったり）
- ・このような状況で職に就けなかった人を自動的につけてあげる
- ・コロナは落ち着いているから経済及び新しい生活の楽しみ方を支援するもの
- ・もっと楽しいイベントなど増やす
- ・感染者増えてもいいから経済回す
- ・少しでも経済を回すようにするため、店の所有者に許可をとり、割引券的なものを住民に配る
- ・GoTo受け入れ拡大・活性化
- ・県と協力し、市内にある観光地などの資源をうまく活用し、長野県全体で観光業を支えていくものを更に強化する。

(7) 宣布

- ・コロナの状況を正確にホームページに載せる
- ・ポスターや学校へのお便りを使い、松本市の現状を皆さんに伝える。学生の子どものいる家庭は必ず見るので…
- ・「コロナ撃退!!」と書いて団扇や日用品を配り、手洗いうがいを促す。「密を避けよう」というポスターをお店や看板に貼る

- ・感染予防のポスターを貼る
- ・コロナの情報を書いた新聞
- ・伝える
- ・この状況でも頑張って工夫をして活動している人を紹介して、「どんな事も頑張って協力すれば乗り越えられる」という事を市民に伝えていく
- ・呼びかけ
- ・コロナウイルスに感染すると、どんなことがおきるのかを詳しく分かりやすく説明して、皆に考えてもらう。そして、気を付けてもらう
- ・新型コロナウイルスについての情報を出す
- ・年代別情報紙の制作→現代ある多くの複雑で間違いの多い情報を年代別に提供する
- ・コロナに自分もならない。周りにうつさないという事を市民に言う。コロナは怖い病気という事を沢山広める

(8) 封鎖

- ・長野県の境目にフェンスをたてる
- ・必ずマスクを着用し、SDをして休める場を作る
- ・2週間だけ市をロックダウンする。食料は配達する人を何人か決め、ビニール袋に入れて届け、そのまま1日放置して、住民が受け取る。(冷蔵、冷凍食品は届けない)
- ・ロックダウンをする
- ・高速道路封鎖
- ・1週間自粛生活をし、感染者が出るかどうか

(9) その他

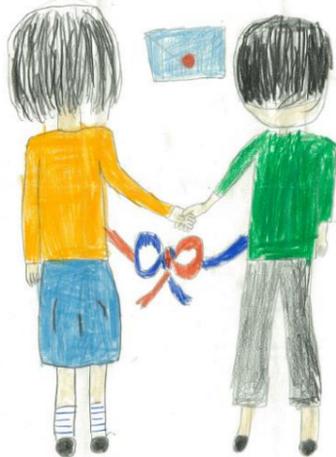
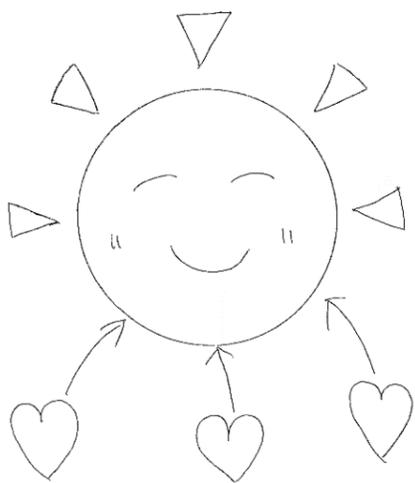
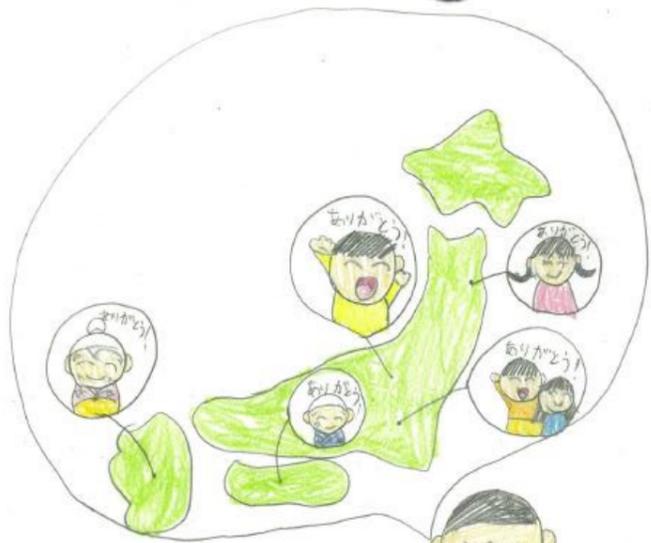
- ・分かりません (14人)
- ・無い (13人)
- ・臭い物には蓋をするスタイルで頑張ります
- ・何も考えない
- ・なんもしない
- ・2020年という年をもう1度やり直す!!
- ・無差別を徹底させる。自然と調和した町づくり。コロナ禍の打開策や経済活動との両立。国内外との連絡地的な存在
- ・失業や、いじめられていた人の自殺が多くなると考えて、自殺防止の何かを考える
- ・具体的なことは分からないけど、市が明るくなるような事をしたい
- ・町の人が困らないように1番いい方法を考えて行動する
- ・安心して生活出来ること!
- ・散歩など体を動かすように何らかのイベントなどをする
- ・皆が安心して生活できるような対策をする
- ・市民が楽しめて笑顔になれる政策 安心、安全に暮らせるような政策
- ・市の人を安心させられるような政策
- ・安心して生活できるもの
- ・子ども、大人(保護者)達が安心して生活できるような政策を考える

- ・感染対策をしていながらも、市内の人たちが楽しく生活できる取組みをする
- ・変わらずに学校生活を送れる町にする
- ・色々な所に市への意見箱を設置する
- ・市民に今ある不満を聞いて、それを解決できるような政策を考える
- ・市民に現在の生活で不便なこと（コロナの関わりで）を聞く
- ・頑張る
- ・積極的に皆を引っ張っていきたい
- ・しっかりと今必要なことをやる
- ・より充実した感染症対策を出す
- ・家で楽しむ為の何か
- ・子どもにも大人にもなるべく負担をかけないような対策
- ・感染者が1人でもでたら、すぐ対策する
- ・外部から人が来る時にPCR検査を実施する
- ・今のように出来る限りの対策をとり、出来る行事をやる
- ・感染予防
- ・コロナウイルス対策を考える
- ・コロナをなくすように呼びかける
- ・今みたいなことをすると思う
- ・現状にあわせる
- ・地域の感染症状態を見ていき、どんな対策するか考えていく
- ・具体的にはないが、いくら安全対策をしてもコロナにかかってしまうものはあるので「こうすれば絶対」はないと考えています
- ・失業や収入の減った人へのサポート
- ・防災無線で呼びかけ、テレワークを進める
- ・コロナウイルスの影響でできていないことをオンラインを使っていつも通りに近い生活を送る事を推進する政策
- ・全ての行事を無しにするのではなく、工夫をして、少しでもイベントなどがひらけるようにする
- ・まず町全体になるべく出ないように呼び掛け、町全体に消毒液を撒く
- ・ワクチン募金
- ・弁当を持たせる
- ・コロナ
- ・新型コロナウイルスに有効となりうるようなものは思いつきませんが、未来委員会の活動も大変だと思いますが、頑張って下さい！
- ・コロナ対策をしない
- ・どうしようもない。時間が解決してくれる

(10) コロナ以外

- ・学校にクーラーをつける！
- ・選挙はネットなどで進める→投票する前、生年月日を入力し、本人だと確認してから投票
- ・道路を広くする 国道を片側2車線に
- ・修学旅行予算の約390万円の予算のうち、政府のGoToトラベル政策でかなりの金額が余るはずだったから、学校の階段をスロープにして欲しい（給食当番の時不便なので）
- ・自炊できるような簡単なメニューなどを配る
- ・松本駅から徒歩で行ける範囲にサンプロアルウィンを移設。松本空港の便の拡張
- ・マイナンバーの普及
- ・自分が市長になったら逆に政治が安定しないかと
- ・財政を建て直す
- ・ゴミ袋有料化
- ・誹謗中傷をなくす
- ・誹謗中傷のいじめや差別をしたら裁判をする条例をつくる（基本的人権）
- ・知事選立候補

私が笑えるのはあなたのおかげ!



あなたの思いは届いています 心からありがとうございます



Thank you!

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 青山飛真



毎日、みんなの未来のために最前線で戦っている医療現場で働いている皆さんにありがとうと感謝を伝えたいです。

新型コロナウイルスに感染のリスクが高い場所が不安や恐怖の気持ちがある中で元氣張ってくれてありがとうございます。

僕も手洗いうがいをしっかりとって、コロナ対策を徹底したいです。

まつもと子ども未来委員会

氏名 阿部康介



こんにちは。まつもと子ども未来委員会の阿部康介です。

この数ヶ月、新型コロナウイルス(COVID-19)という未知のウイルスが全世界で猛威をふるっています。

その苛酷な状況下で、毎日毎日、国民の為に尽力下さっている医療従事者の方々へ、書かせて頂きます。

まず初めに、感染者を広げずに阻止し、目の前の命を救おうと力を注いでいる現場の方々、本当にありがとうございます。

一番ウイルスに近い苛酷な環境で働いている方々の苦勞は、テレビや新聞等でも伝えられています。

しかし、それはほんの一部だということも伝わっています。

僕たちには残念ながらそのほかのことは分かりません。

医療に携わっている方々は、身を削ってまで命を救っているのに...

同時に、医療の方々への罵声も混びせられていることも伝えられています。

なので、医療従事者の方々へか少しでもなればと、エールを送ります。

① 最後まで諦めないで下さい。

② 国民全員がみなさんの力を信じています。

③ コロナウイルスには必ず勝てます!

今までも、そしてこれからも、私達はみなさんの力を信じています。

世界で力を一つにして、ウイルスに勝ちましょう!!

応援しています。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 井寛 莉乃



医療従事者の皆様、このような世界状況の中、身を削りながら人々の命を救うために尽力して下さい本当にありがとうございます。感謝してもきれません。普段でも、病院の中であたり、色々なところで精神や頭を使いながら働いていらっしゃるのに、そこをいじめるように流れ込んできた新型コロナウイルス。普段からバタバタの毎日を通り過ぎてきている皆様にとっては、本当に絶望で先も見えなかつたと思います。いつも、命、危険ととなり合わせで働いていらっしゃる皆様に、どうにかして、言葉として感謝をお伝えしたいのと思っていたところ、このような機会を頂くことができました。私自身、病院に行くことが多く、医療従事者の方とお会いする事が多いのですが、どの方も笑顔で優しく対応して下さいます。こうやって、どんなことがあっても、嫌な顔一つせずに働いていらっしゃる皆様。あまり大きな行動もできない1人の女子中学生ですが、皆様へメールを送らせて下さい。

「人間、無限の可能性が有ります。当然、皆様にも有ります。目の前の苦しみに押しつぶされそうになることもあると思います。でもあきらめないで下さい。上を向けば、あなたを助けてくれる仲間はいます。必ず手を差し伸べてくれます。あなたの存在が誰かを助けます。これから、どうか、生き続けて下さい。ずっと応援しています。」
最後まで読んで下さい。ありがとうございます。

Rino

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 小澤 栞音



コロナウイルスが流行ってから病院で働く医師、看護師の方々が
どんな思いで仕事をしているのか考えると、私たちが安心して暮らしているの
は、医師、看護師の方々の本気の働きと本当に感謝します。

医師、看護師の方々がどんな思いでコロナウイルスや、患者さんに向き合ってい
るかは想像しえないですが、本当にありがとうございます。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 駒橋希美



医療現場で働くみなさん、この大変な中私
たちのために働いてくださりありがとうございます
ございます。今みなさんがいることで助かっ
ている人は大勢いると思います。とても大変
なお仕事だしつらいとは思いますが、がんば
ってください。おうえんしています。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 鈴木 柚葉



新型コロナウイルスの最前線で働いている医療関係者の皆様、本当にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。テレビのニュースで家族に感染させないため車の中で生活して家に入らないと言っていた方を見ました。それだけ我慢して多くの人を守ろうとしてくれていることを知り胸が痛くなりました。そんな中私は自分のことしか考えられていたから、こんな思いがいよいよ申請となりました。私達若者は、新型コロナウイルスの怖さもあまり知らな～んです。どうせ自分は若いから重症にはならな～い甘く見てしまっています。だからもっと知りた～いです。コロナの本物の怖さと今の実態も... 私達からかけがえのない大切な日常を奪った新型コロナウイルス。私は中学生生活最後の1か月がなくなっていました。卒業式は分散で短縮されてですが無事行くことができて良かったと思います。今は課題に追われる日々です... このような状況ですが、一筋の光が段々見えはじめました。皆さんの頑張りが身を結んだと思います。

本当にありがとうございます。いつまでも私は皆さんを応援します。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 滝川未央



コロナウイルスのちゅうをしをさせていただき本当にあり
がとうございます。

もし、医療現場の方々がいなければ、コロナ
ウイルスがもっとひろがると思うとしても小布く
なります。

なのに、もし私がかんご師さんやお医者さんだっ
たら、きっと、命かけて、「自分もなるかもしれない。」と
思いながらはたらくことは、できないと思います。
でも、「そんなことができるなんて、かんご師さんも、
お医者さんもすごいな。」と私は思い、しょうらい私
は、お医者さんがかんご師さんになりたいと思っ
ました。

私もこれ以上コロナウイルスがひろがらないよ
う、外出自しやく、手洗い、手の消毒、マスク着用を
心がけたいと思います。

一日でも早くコロナウイルスの糸冬そくを原負って
います。これからもがんはってください。

まつもと子ども未来委員会

氏名 滝澤智貴



医療現場で働く皆さんへ

新型コロナウイルスのえいきょうをうけて、とても大変な時だと思っています。

でも、医療現場がなかったら、新型コロナウイルスに次々とかかってしまうのではないかと考えています。皆さんも、新型コロナウイルスにかからないようにがんばってください。僕たちは、自しゅくして、感せん拡大を防ぐので、せいいはいでずか、それも集団感せん防止になると思います。

僕は、医療現場で働いている皆さんが、とてもすごいと思います。なぜなら、コロナにかかっている人でも、優しく接して、悲しい気持ちにならないようにしているからです。

僕は、医療現場で働いているみなさんに、感謝の気持ちで、いはいです。

これから先、どうなるかはわかりませんが、みなさんもくじけず、にがんばってください。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 根本 怜奈



私は、松本市立病院のすぐ横にある、波田中学校に通っています。緊急事態宣言が解除され、波田中では分散登校が始まり、短縮ですが登校することができるようになりました。そして学校に行けるのは、新型コロナウイルスが広まってきた自分達の休校で家にいる間もずっと、病院で働いて下さる皆様のおかげです。

中国で広がっていたことを知ったときは正直まだ他人事だと思っていました。国内で広まってきたときは、「長野県はまだ感染者が少ないから」なのだと思います。そして、他人も意識がなかったのは、松本で感染者が確認されてからでした。でも思い返してみると、そうして私が学校ですごしたの間も、教室の窓から必ず見える市立病院ではずっと沢山の人が新型コロナウイルスと闘っていたことに改めて気づかされました。私も自分ができることを精一杯していると思っています。そして、今も市立病院で働いて下さっている皆様、本当にありがとうございます。

まつもと子ども未来委員会

氏名 藤池春妃



今、世間を怖がらせている新型コロナウイルス。人は皆感染者と接触するのを恐れています。貴方達、医療現場で働く方々は、1人でも多くの人を生きかし、助けるために全力を尽くしてくれていますね。自分もきっと家族のこと、実家のこと、すごく心配だろうし自分だってコロナから逃げたいと思います。それでも感染者を決して見捨てたりせず、自分の身を危険にさらしてでも守り続ける貴方達を尊敬しています。

私達も手洗い、うがい、快食、快便、快眠など、自分達の出来る事を全力でやります。ですが、貴方達ほどには及びません。少しでも貴方達の負担を減らしたいと思っています。そのことでも、すごく尊敬しています。

ありがとうございました。ありがとうございます。そして、がんばって！！

まつもと子ども未来委員会

氏名 藤崎 悠理



医療現場で働く医療従事者のみなさんへ。
コロナウイルスがまだおさまりきれいな中、働いてくれてありがとうございます。不安な気持ちをバ
ッおしこめ細心の注意をはらいながら働いてく
れるみなさんのおかげで私たちはまだ健康で
すごせています。本当にありがとうございます
今までに学校の先生が、かげで努力したり、支え
てくれる人がいるからこの社会はなりたて
いるんだよといわれことが何度あったけ
ど、あまり実感することはありませんでした。
でも、今回、先生の言っていた事をよりみじ
かに感じました。私にとっては少しいい体験
でした。私はまつもとの医療現場の事をあま
りくわしく知りません。ですが、つただけ確実に
言える事があります。それはみなさんの行動
で少しずつ未来が良い方向へかわってしてい
るということです。また、安心して過ごせ
るというわけではありません。でもきっと世
界は少しずつ変わっていると思います。私たち子
どもたちにできる事はほんとうに少しです。ですが、こ
ういう小さいでき事がほんの少しでも活かになれば
いいなと思います。
がんばってください。

医療現場で働く皆さんに伝えたいことや感謝の気持ちを書いてね！

まつもと子ども未来委員会

氏名 山田むさし



医療現場で働くみなさんへ

命の「キケン」をおかしながら、コロナウイルスの患者を治りようとしていただき本当にありがとうございます。

いつもニュースでも耳にしていますが、ほうご月日
がたりでない、マスクが手に入らぬなど言っている
中でありがとうございます。

「本当にありがとうございます」

第7期

まっもと子ども未来委員会 委員募集!!



未来委員会とは

★第7期の活動期間は 2021年4月
～ 2022年3月

★小学校5年生～高校3年生の
メンバーが活動しています

★大学生のサポーターが来て支えてくれます

★月に1～2回委員会を行います

★活動内容は自分たちで決めます



未来委員会の
ホームページ

第6期に行なった活動

★病院で働いている人への感謝の手紙

★市への提言

★新型コロナウイルスに関するアンケート



話し合おうの
楽しいよ～!!



このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために
委員が自分たちで作ったものです。



第7期まつもと子ども未来委員会 委員募集!



- まつもと子ども未来委員会は松本市が抱えている課題や事業について話し合い、11月に開催される『子どもの権利の日市民フォーラム』内で市へ向け、提言を行います。
- 活動期間は2021年4月から2022年3月までで、松本市内の小学5年生から高校3年生が参加できます。月に1・2回集まって話し合いを行い、互いの交友関係も深めることが来ます。
- 第6期では、松本市のPR・食品ロス・校則見直し・新型コロナウイルス感染症に対するアンケートについての提言をしました。



他校との
交流が生まれました!!

市長や教育長に
私たちの考えを
発表しました!



一緒に楽しく活動しましょう!!!
ご応募お待ちしております。

このチラシは、未来委員会の活動の周知と新規委員を募集するために
委員たちが自ら作成しました。

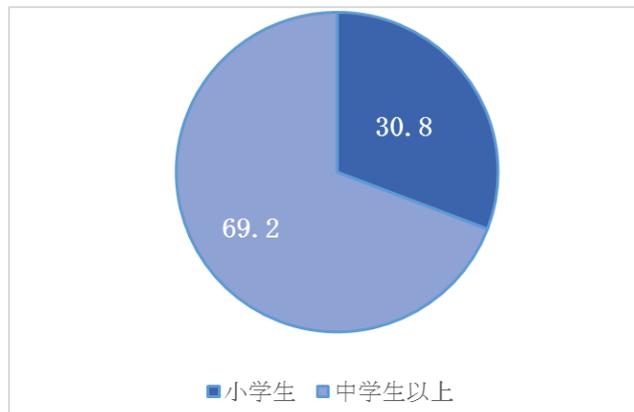


未来委員会の
ホームページへ

5 未来委員会初回アンケート結果

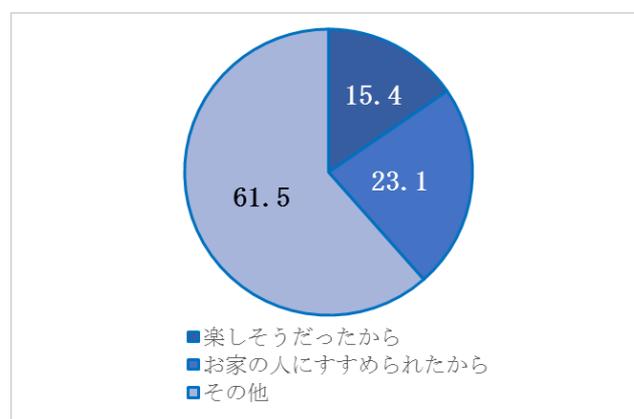
学年

	人数	割合 (%)
小学生	4	30.8
中学生以上	9	69.2
合 計	13	100.0



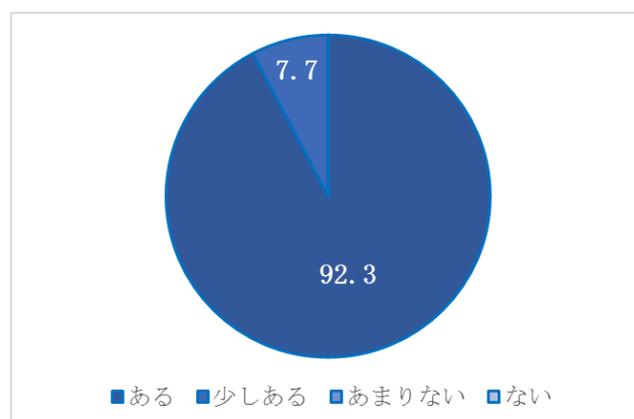
参加のきっかけ

	人数	割合 (%)
楽しそうだったから	2	15.4
お家の人にすすめられたから	3	23.1
その他	8	61.5
合 計	13	100.0



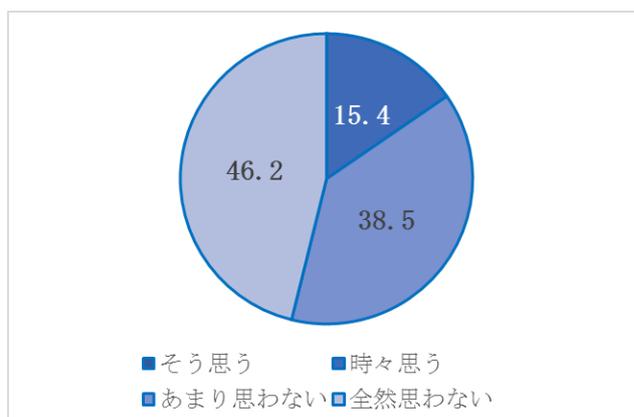
松本市への興味・関心

	人数	割合 (%)
ある	12	92.3
少しある	1	7.7
あまりない	0	0.0
ない	0	0.0
合 計	13	100.0



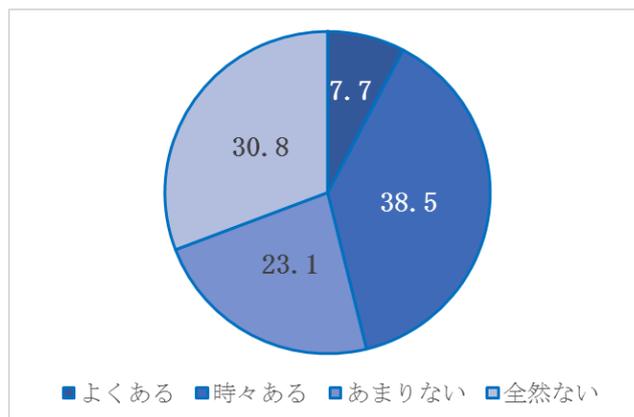
人前で発言することを恥ずかしいと思うか

	人数	割合 (%)
そう思う	0	0.0
時々思う	2	15.4
あまり思わない	5	38.5
全然思わない	6	46.2
合 計	13	100.1



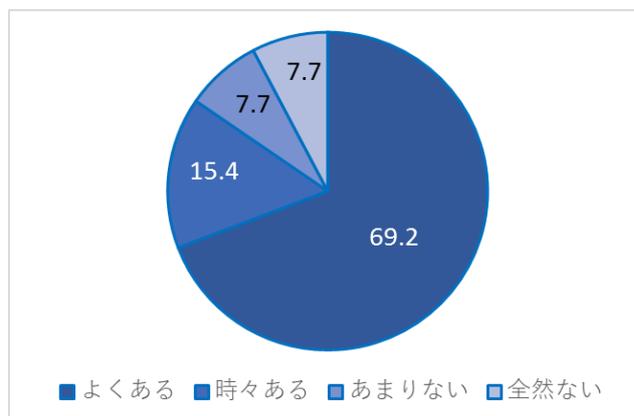
自分の言いたいことが言えないことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	1	7.7
時々ある	5	38.5
あまりない	3	23.1
全然ない	4	30.8
合計	13	100.1



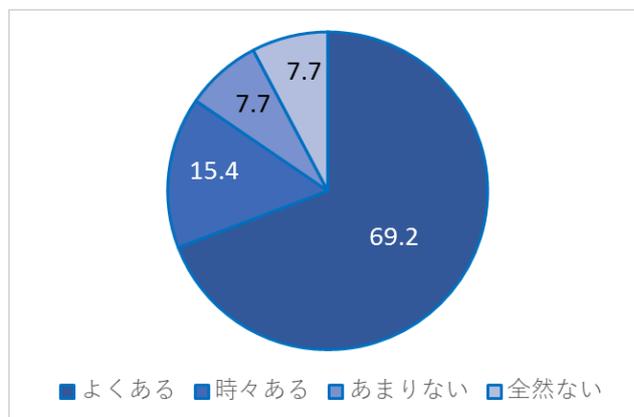
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	9	69.2
時々ある	2	15.4
あまりない	1	7.7
全然ない	1	7.7
合計	13	100.0



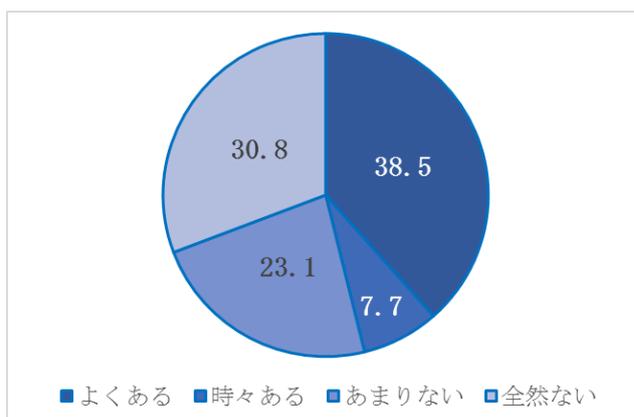
学校で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合 (%)
よくある	9	69.2
時々ある	2	15.4
あまりない	1	7.7
全然ない	1	7.7
合計	13	100.0



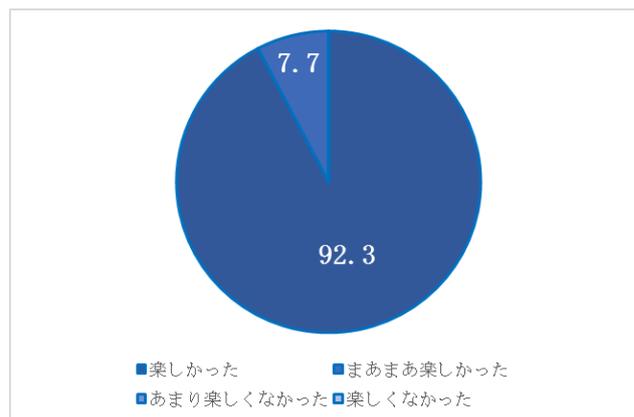
地区で自分の意見を言うことがあるかどうか

	人数	割合 (%)
よくある	5	38.5
時々ある	1	7.7
あまりない	3	23.1
全然ない	4	30.8
合計	13	100.1



初回の委員会について

	人数	割合(%)
楽しかった	12	92.3
まあまあ楽しかった	1	7.7
あまり楽しなかった	0	0.0
楽しなかった	0	0.0
合計	13	100.0



初回の感想

人数は少ないけど、話し合えて楽しかったです。

顔見知りばかりだったので、これから緩みすぎないように、楽しく活動していきたいです。

自分の意見を発表できた。子どもの権利について知れてよかったです。

子どもの権利の事について考えられました松本市の事に関してもっと調べていきたいです。

少人数で驚きましたが、少人数でやるのも楽しいなと思いました。

初めてでしたが、みんなの意見を聞いて楽しかったです。

久しぶりにみんなにあっただけど、元気だったのでよかったです。

ほとんど知っている人ではあったけれど、また違った一面を見られたのでこれからは楽しみです。

副委員長にもなれたし、話し合いも楽しかった。

すごく難しい事をやるのかと思ったけど、けっこう楽しかった。

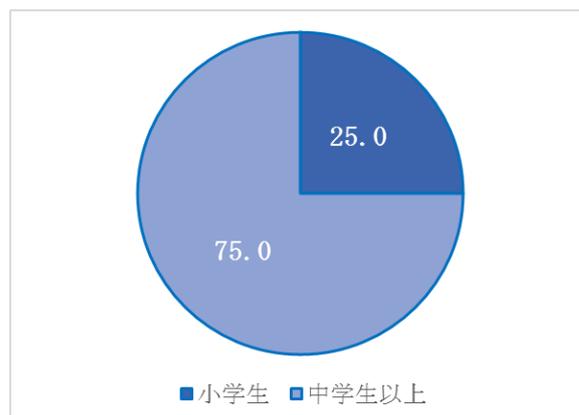
委員を5～6人位増やしたいです。

あまり人が変わっていないくて安心した。頑張りたいです。

6 未来委員会最終回アンケート結果

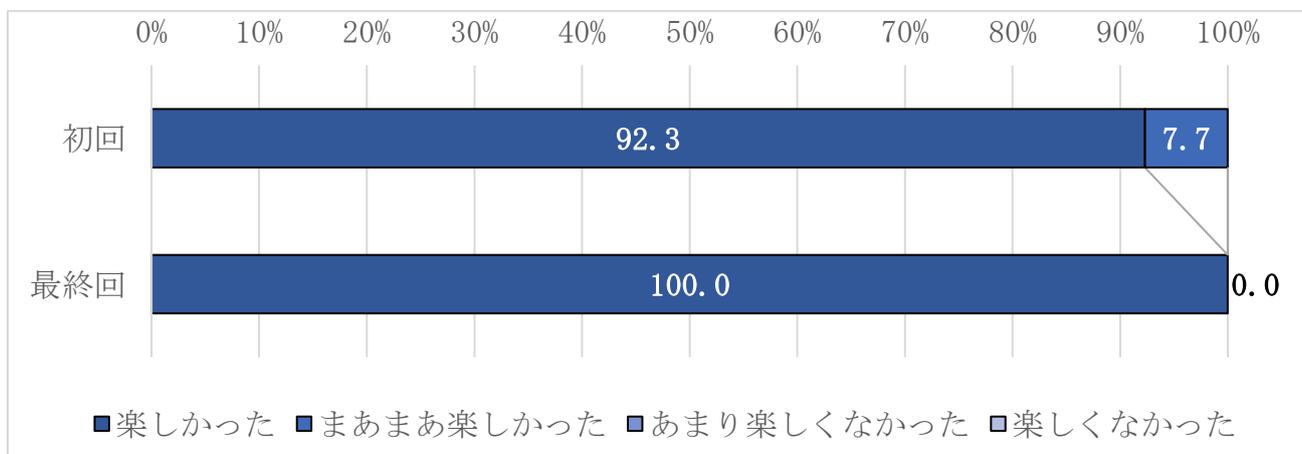
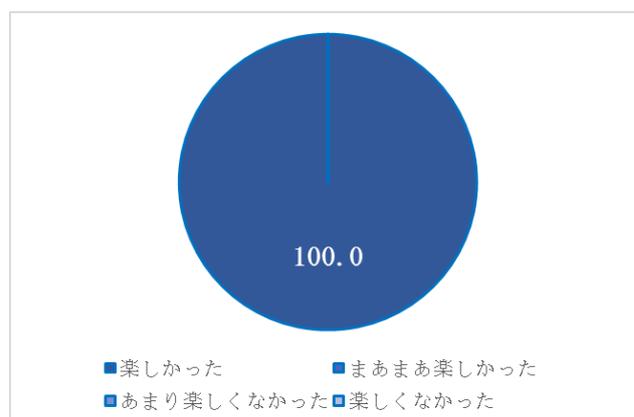
学年

	人数	割合 (%)
小学生	2	25.0
中学生以上	6	75.0
合 計	8	100.0



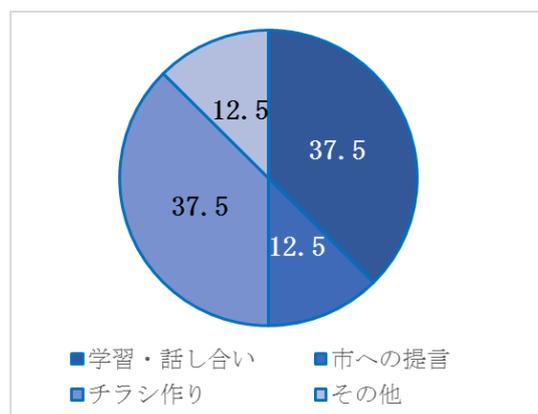
委員会の感想

	人数	割合 (%)
楽しかった	8	100.0
まあまあ楽しかった	0	0.0
あまり楽しくなかった	0	0.0
楽しくなかった	0	0.0
合 計	8	100.0



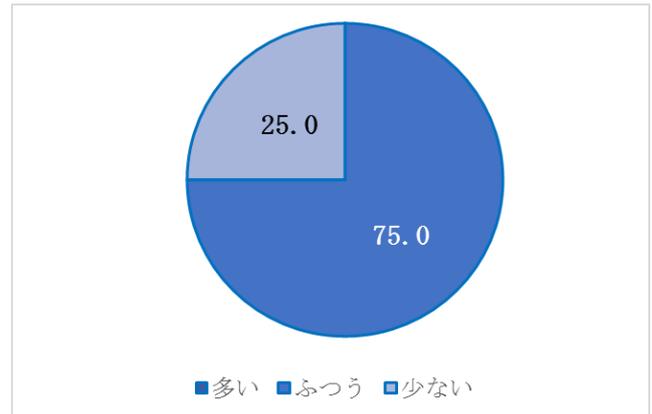
一番思い出に残っていること

	人数	割合 (%)
学習・話し合い	3	37.5
市への提言	1	12.5
チラシ作り	3	37.5
その他	1	12.5
合 計	8	100.0



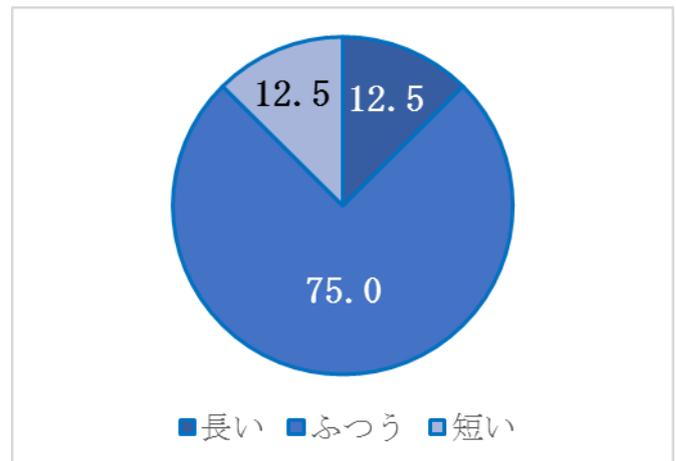
委員会の回数について

	人数	割合 (%)
多い	0	0.0
ふつう	6	75.0
少ない	2	25.0
合計	8	100.0



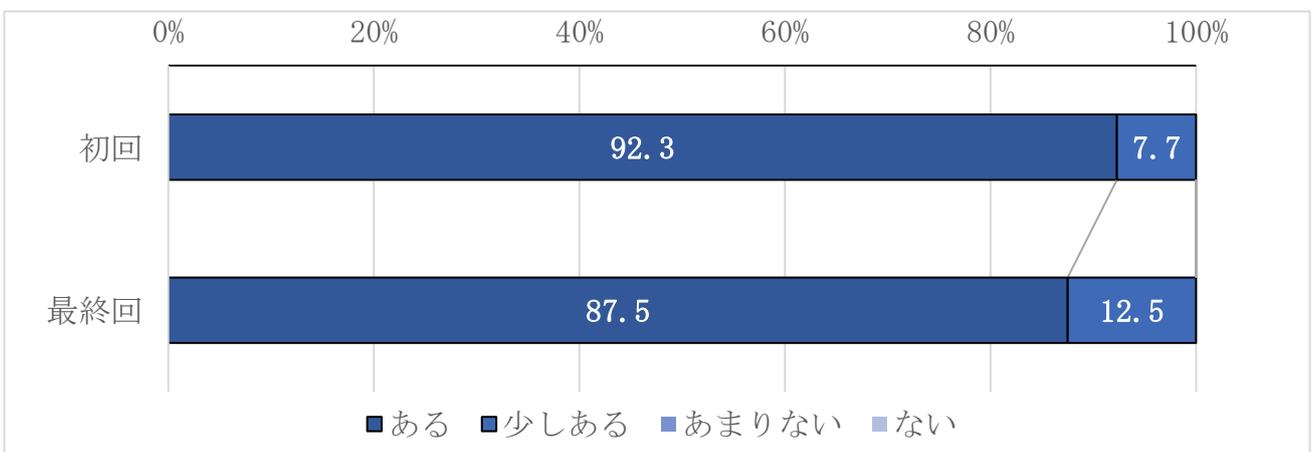
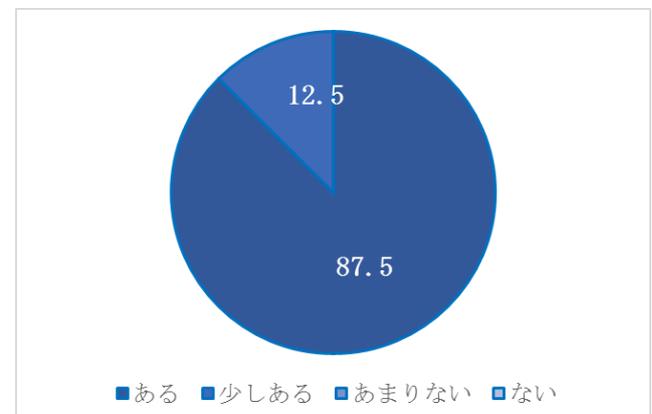
委員会の時間について

	人数	割合 (%)
長い	1	12.5
ふつう	6	75.0
短い	1	12.5
合計	8	100.0



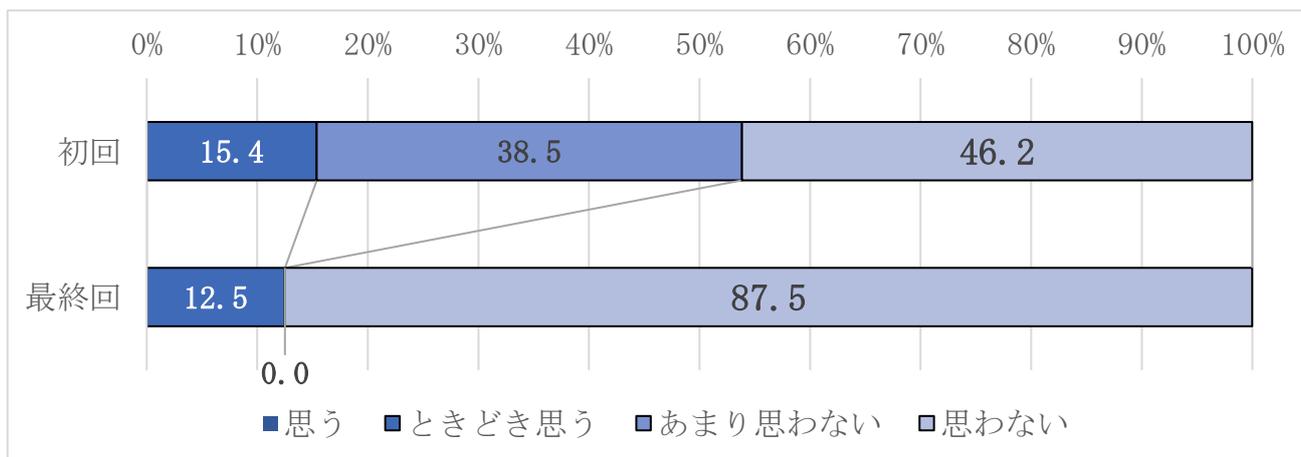
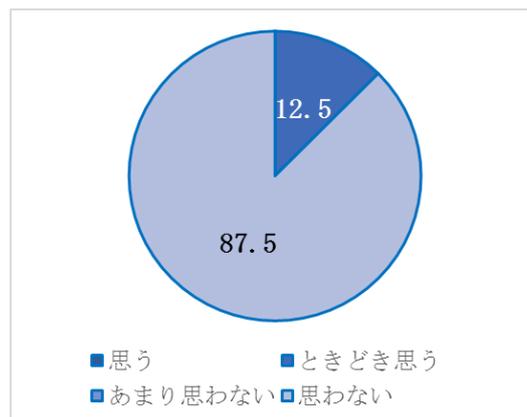
松本市への興味・関心

	人数	割合 (%)
ある	7	87.5
少しある	1	12.5
あまりない	0	0.0
ない	0	0.0
合計	8	100.0



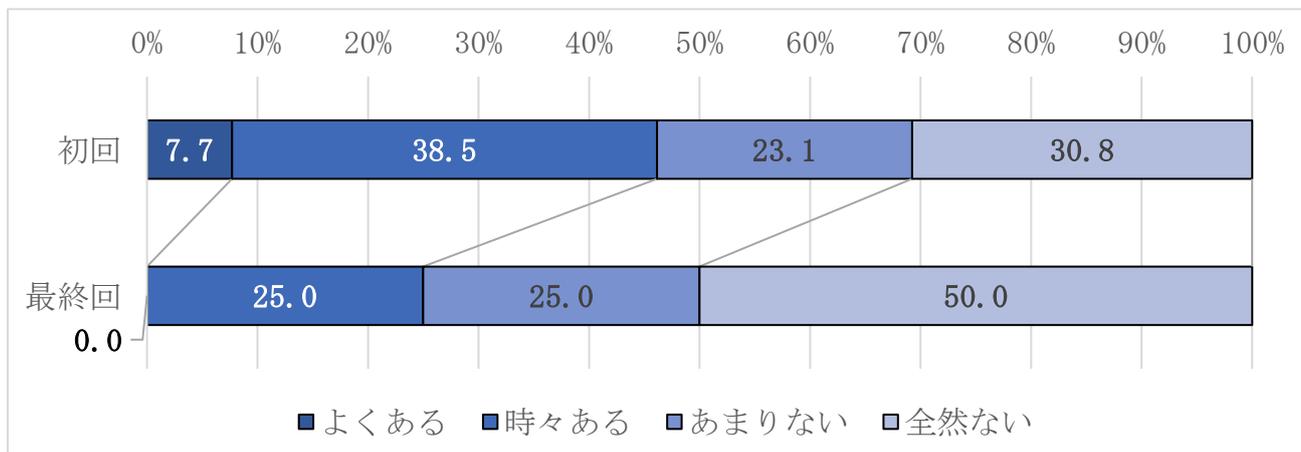
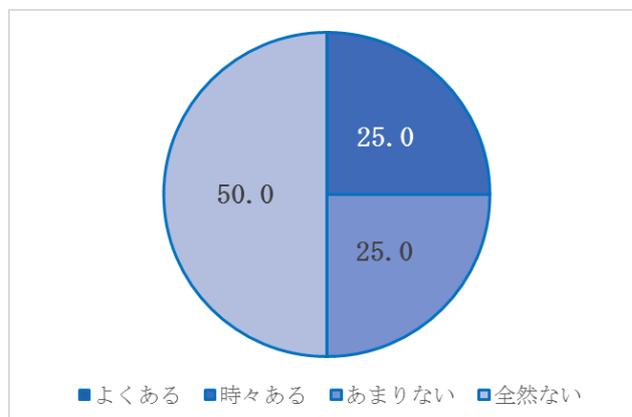
人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	人数	割合 (%)
思う	0	0.0
ときどき思う	1	12.5
あまり思わない	0	0.0
思わない	7	87.5
合計	8	100.0



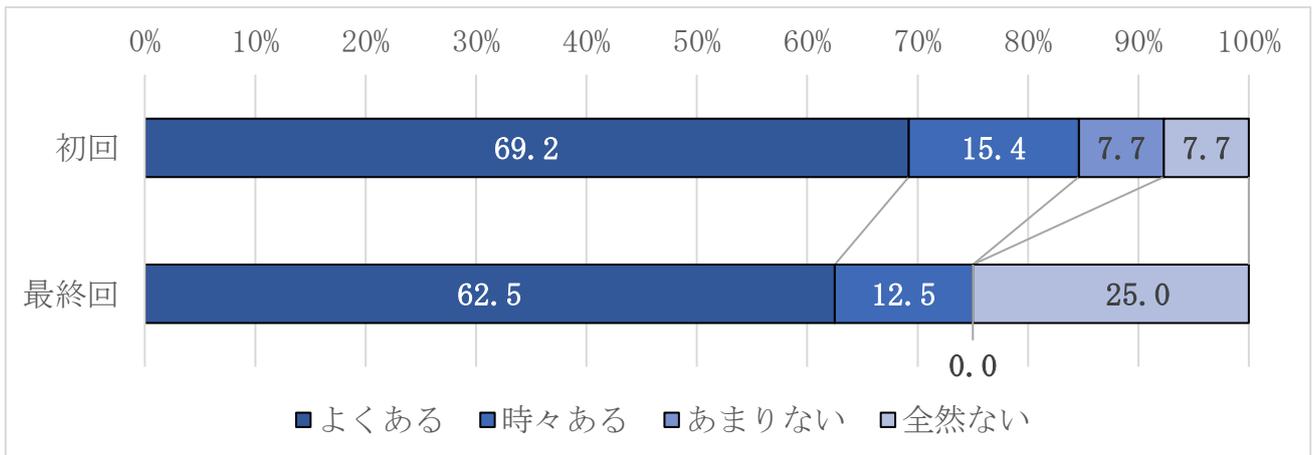
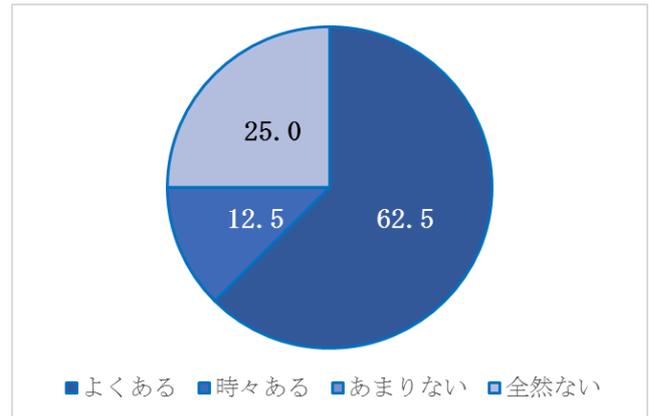
自分の言いたいことを言えないことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	0	0.0
時々ある	2	25.0
あまりない	2	25.0
全然ない	4	50.0
合計	8	100.0



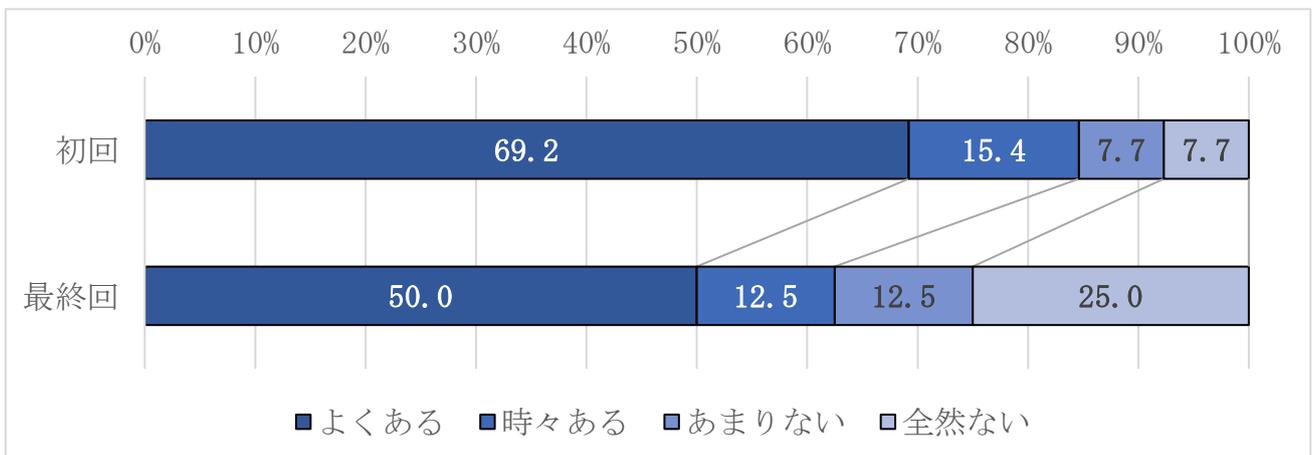
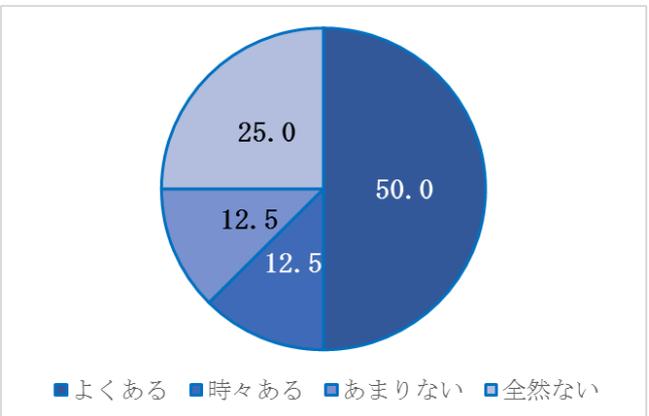
お家で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	5	62.5
時々ある	1	12.5
あまりない	0	0.0
全然ない	2	25.0
合計	8	100.0



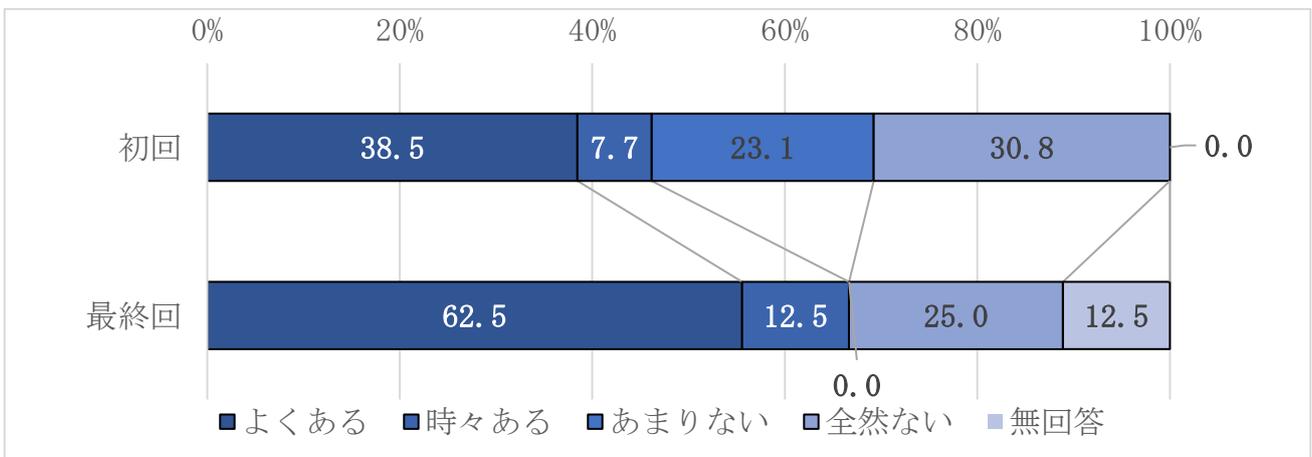
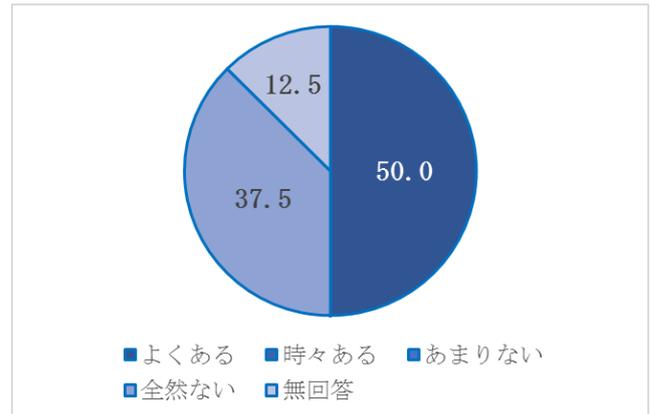
学校で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	4	50.0
時々ある	1	12.5
あまりない	1	12.5
全然ない	2	25.0
合計	8	100.0



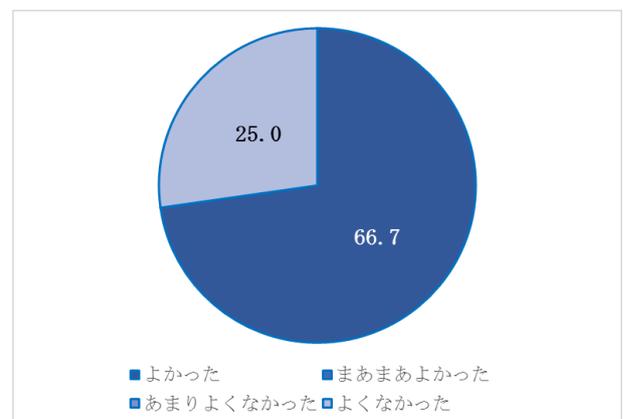
地区で自分の意見を言うことがあるか

	人数	割合 (%)
よくある	4	50.0
時々ある	0	0.0
あまりない	0	0.0
全然ない	3	37.5
無回答	1	12.5
合 計	8	100.0



サポーターの感想

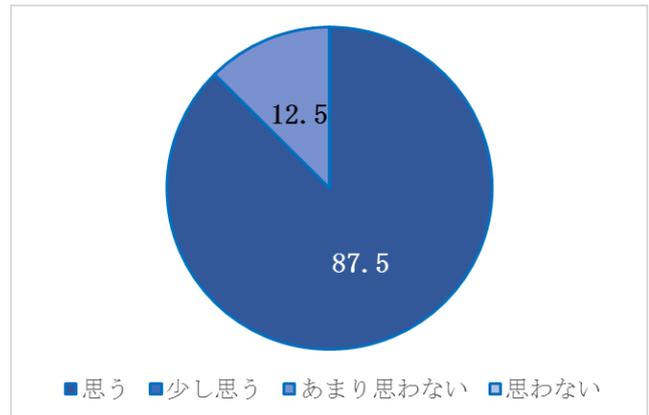
	人数	割合 (%)
よかった	8	66.7
まあまあよかった	0	0.0
あまりよくなかった	0	0.0
よくなかった	3	25.0
合 計	12	100.0



- ・意見のアドバイスなどを教えてくれたりした。
- ・分からないところを説明したり、手伝ってくれたりしたから。
- ・意見をまとめてもらえたから。
- ・普段あり触れ合わない年代の人とも触れ合えたから。
- ・考えやまとめ方の幅が一段と広がった。
- ・大学生のサポーターの方の協力のおかげで、話がまとまったこともありまし、大学での話も聞けて良かったです。

次期委員会に参加したいと思うか

	人数	割合 (%)
思う	7	87.5
少し思う	0	0.0
あまり思わない	1	12.5
思わない	0	0.0
合計	8	100.0

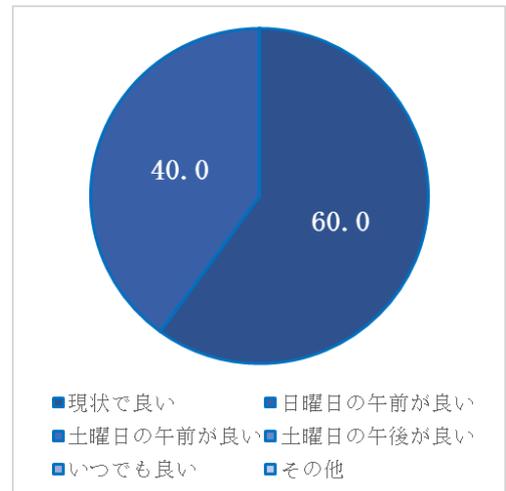


来年も、松本市のために何かやりたい。
 後2年しかないので、いい機会を逃したくないから。
 おもしろいから
 松本のことをもっと知りたい。
 自分の考えを発信できる貴重勝大切な場所だから。
 一年間とても楽しかったから。来年も参加したいです。
 受験勉強があるから

7 未来委員会保護者向けアンケート結果

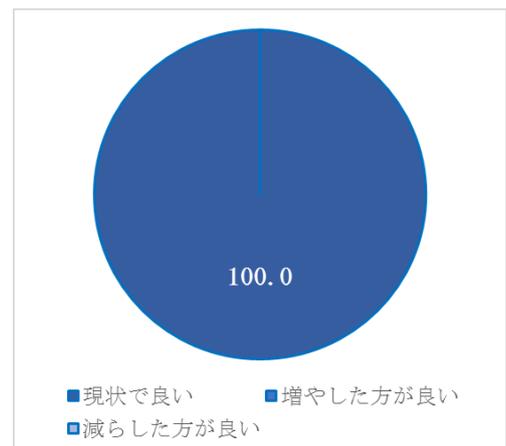
日程について

	人数	割合 (%)
現状で良い	3	60.0
日曜日の午前が良い	2	40.0
土曜日の午前が良い	0	0.0
土曜日の午後が良い	0	0.0
いつでも良い	0	0.0
その他	0	0.0
合 計	5	100.0



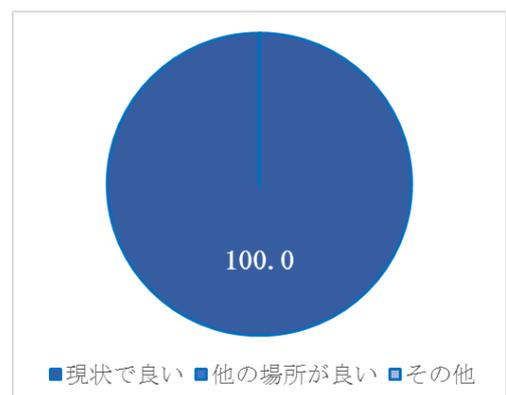
回数について

	人数	割合 (%)
現状で良い	5	100.0
増やした方が良い	0	0.0
減らした方が良い	0	0.0
合 計	5	100.0



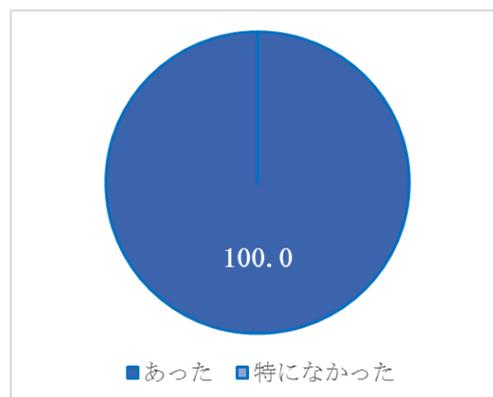
開催場所について

	人数	割合 (%)
現状で良い	5	100.0
他の場所が良い	0	0.0
その他	0	0.0
合 計	5	100.0



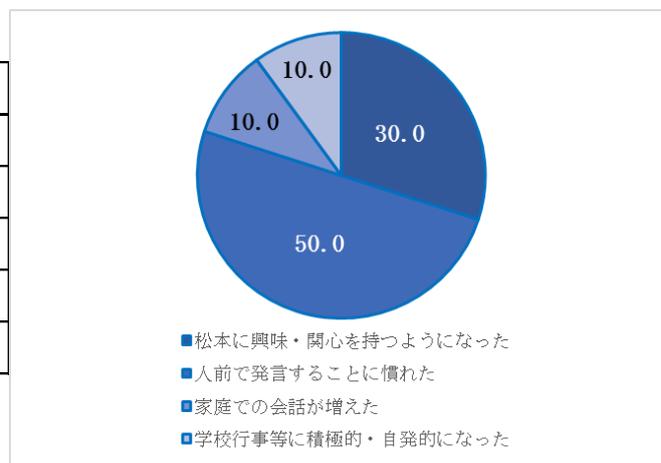
子どもに変化があったかどうか

	人数	割合 (%)
あった	5	100.0
特になかった	0	0.0
合計	5	100.0



変化の内容

	人数	割合 (%)
松本に興味・関心を持つようになった	3	30.0
人前で発言することに慣れた	5	50.0
家庭での会話が増えた	1	10.0
学校行事等に積極的・自発的になった	1	10.0
合計	10	100.0



- ・年上の人と話す機会が多いので、いろいろ刺激があり、楽しんでいるようです
- ・松本だけではなく、世の中の様々なことに興味を持つようになった。ニュースについてよく自分の中で考え、意見を言うようになった。
- ・初めての参加でしたが、異なる年齢、違う学校の生徒の皆さんと関わることができて学ぶことが多かったと思います。ありがとうございました。
- ・成長させていただいています。ありがとうございます。
- ・毎年テーマが異なりますが、前年度と同じテーマを引き継いでもおもしろいかなと思います。メンバーが違くと、同じテーマでも別の展開がある。年度初めのテーマ決めで子ども達と同じテーマでやりたい、と思うのならばいいと思います。



まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

松本を大切にしたい（手の中に松本市）
笑顔でいっぱいになりたい
松本の自然（山・太陽）を描きました